

HDVTR スタジオ用
ATTACHMENT MCI-3200
取り扱い説明書
(VER H01 S0100-19)

2008年11月17日

武蔵株式会社

目次

1. 適用	P. 2
2. 概要	P. 2
3. フロントパネル	P. 3
4. MENU 操作パネル	P. 20
5. リアパネル	P. 22
6. コネクター・ヒューズサイン	
6-1. REM-1 コネクター	P. 27
6-2-1. VTR PARALLEL コネクター (HDW-1800/2000 シリーズ の設定)	P. 29
6-2-2. VTR PARALLEL コネクター (HDW-500 の設定)	P. 29
6-3. PARALLEL OUT コネクター	P. 32
6-4. VTR REMOTE コネクター	P. 32
6-5. EDIT UNIT コネクター	P. 33
6-6. REM-2 コネクター	P. 33
6-7. CUE OUT コネクター	P. 34
6-8. TALLY IN コネクター	P. 34
6-9. TALLY OUT コネクター	P. 34
7. MENU	
7-1. MENU 設定について	
①バージョン情報及び各 VTR 及び ATMT 設定	P. 35
②CONFIG BANK 設定	P. 38
③ERROR LOG 設定	P. 39
④COMMAND LOG 設定	P. 43
⑤PQ-REC 設定	P. 46
⑥PQ-PB 設定	P. 46
⑦BEEP 設定	P. 47
⑧ON AIR 設定	P. 48
⑨REM-1 設定	P. 49
⑩その他の設定	P. 50
⑪SYSTEM 設定	P. 51
7-2. MENU の初期化について	P. 53
7-3. ERROR 表示について	P. 54
8. その他の機能	P. 55
9. PQフォーマット	
9-1. HDD5-VTR ストップコード記録フォーマット	P. 56
9-2. HDD5-VTR 確認用キュー記録フォーマット	P. 56
9-3. HDCAM-VTR ストップコード記録フォーマット	P. 57
9-4. HDCAM-VTR 確認用キュー記録フォーマット	P. 57
9-5. ストップコードの記録データ内容	P. 58
10. PQ REC シーケンス	
10-1. HDD5-VTR	P. 59
10-2. HDCAM-VTR	P. 60
11. PQ PB シーケンス	P. 61
12. TEST REC シーケンス	P. 61
13. RIS シーケンス	
13-1. RIS	P. 62
13-2-1. HDD5-VTR での RIS 完了後の REC による自動 PQ REC	P. 63
13-2-2. HDCAM-VTR での RIS 完了後の REC による自動 PQ REC	P. 64
14. 一般仕様	P. 65
15. 外観図	P. 66
16. 接続例	P. 67
17. 各 VTR 設定の違いと注意点	P. 69

1. 適用

本装置は武蔵製 ATTACHMENT(MCI-3200)について規定します。

尚、本仕様書に掲載されている動作内容は、各スイッチ及びメニュー設定等により異なる場合があります。

対象機種：Panasonic 製 VTR (AJ-HD580, 2000, 3000, 3700H/A/B, 3730)

音声 8ch 対応 HDD5-VTR に音声 8ch テープを挿入した場合も、対応可能です。
D3 再生互換 HDD5-VTR に D3 テープを挿入した場合も、PQ-PB 動作を含む各種動作が可能です (REC 動作は対象外)

：SONY 製 VTR (HDW-500, A2100, 2000, S2000, M2000, 1800*)

ベータカムテープ再生互換機 VTR にベータカムテープを挿入した場合は、PQ 関連動作、RIS 動作は動作対象外とします。(再生、早送り、巻き戻しなどの基本動作は可能)

* HDW-1800 は VTR に CUE 入力端子が無いので注意が必要です。17-3 参照

2. 概要

MCI-3200 の主な機能は下記の通りです。

<LOCAL CONTROL 機能>

- ・ ストップコードの検出機能を装備しています。
- ・ ストップコードの記録／消去機能を装備しています。
- ・ その他、TEST REC 等各種の動作が実行出来ます。

<REMOTE CONTROL 機能>

- ・ 放送制御コンピューター等からのパラレル制御が可能です。

<EDIT CONTROL 機能>

- ・ 編集用インターフェースで直接編集機からの指示で VTR の制御が可能です。

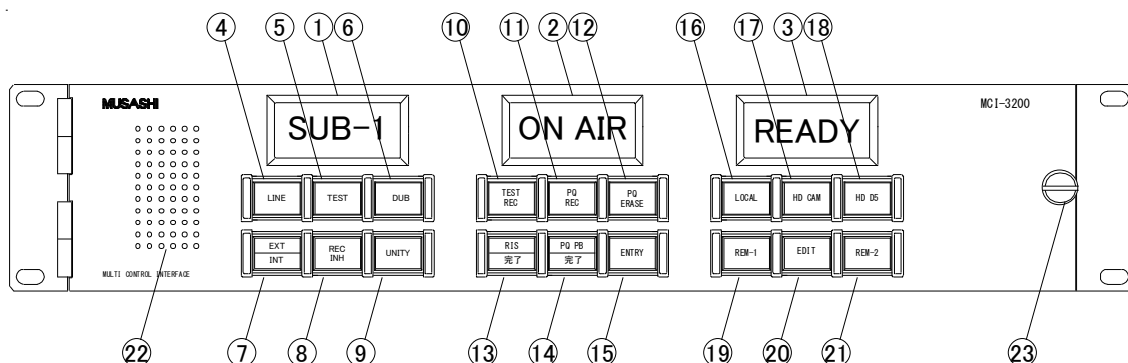
<OA TALLY 機能>

- ・ OA TALLY 入力として TALLY IN コネクタを装備しています。
- ・ 外部 TALLY PANEL 用に TALLY OUT コネクタを装備しています。
- ・ フロントパネルに OA TALLY 用表示灯を装備しています。

<その他の機能>

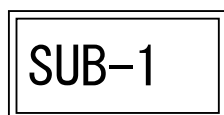
- ・ リファレンスは 3 値 SYNC 1125/59.94Hz、525 i /59.94 B.B に対応しています。

3. フロントパネル



MCI-3200 の機能を使用する時は VTR 本体の REMOTE-1(9P)スイッチ、REMOTE-2(50P)スイッチを ON (点灯) に設定して下さい。*VTR の不揮発性 RAM に所定の設定が必要になります。

3-1. 号機表示灯 (上記外観図 ①)



スクリーン色 : 乳白色
LED 色 : アンバー色

- (a) MCI-3200 の電源投入時、表示灯はアンバー色で点灯します。
- (b) リファレンス信号がない時及び、VTR がローカル状態の時は点滅します。
- (c) VTR の障害 (HARD ERROR)、アタッチメントの障害が発生した場合、表示灯はアンバー色で点滅し警告音を出します。
ENTRY スwitchを押すことにより警告音を消すことができます。
アラーム表示は、HARD ERROR が無くなるまで解除されません。

3-2. ON AIR 表示灯 (上記外観図 ②)



スクリーン色 : 乳白色
LED 色 : 赤色・緑色混合にてアンバー色

- (a) MCI-3200 の電源投入時、表示灯は消灯しています。
- (b) TALLY IN コネクタに OA TALLY を受けている間、表示灯は赤色に点灯します。
- (c) OA TALLY 強制 PLAY 実行時、VTR が LOCAL あるいはカセット未挿入時には、アンバー色に点滅します。
(ENTRY スwitchを押すと点滅は停止します。)

3-3. READY 表示灯（上記外観図 ③）

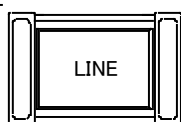


スクリーン色 : 緑色

LED 色 : 緑色

- (a) PQ-PB 完了でタッチメントが REM-1 かつ VTR が REMOTE の時のみ点灯します。
- (b) REM-1 から EDIT または LOCAL または REM-2 に換えるとブザーが鳴り点滅します。(ENTRY スイッチを押すとブザーは停止します。)

3-4. LINE スイッチ（上記外観図 ④）



接点動作 : モーメンタリ（ガードカバー付き）

スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 及び EDIT 時に選択可能です。
- (b) LINE 選択時、PARALLEL OUT より LINE-S を出力します。
- (c) LINE 選択時、VTR 映像入力信号を SIF に切替えます。
- (d) LINE 選択時、MENU「B0:LINE AUDIO IN SEL」設定により、VTR 音声入力信号を切替える事が出来ます。
- (e) MENU「A0:REM-1 LINE SEL」設定により、REM-1 スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (f) MENU「A1:REM-2 LINE SEL」設定により、REM-2 スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (g) MENU「A2:EDIT SWITCHER SEL」設定により、EDIT スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (h) LINE 選択中点灯します。

※VTR が LOCAL 状態から REMOTE にした場合、現在の ATMT 状態 (LINE,TEST,DUB 何れか) に戻します。

3-5. TEST スイッチ (上記外観図 ⑤)



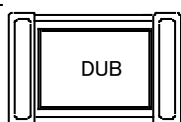
接点動作 : モーメンタリ- (ガードカバー付き)

スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 及び EDIT 時に選択可能です。
- (b) VTR で設定した内部 SG (映像 100%CB・音声 1KHz) に切替えます。
- (c) TEST 選択中点灯します。

3-6. DUB スイッチ (上記外観図 ⑥)



接点動作 : モーメンタリ- (ガードカバー付き)

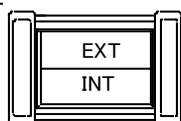
スクリーン色 : アンバー色

LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 及び EDIT 時に選択可能です。
- (b) DUB 選択時、PARALLEL OUT より DUB-S を出力します。
- (c) DUB 選択時、VTR 映像入力信号を SIF に切替えます。
- (d) DUB 選択時、MENU「B1:DUB AUDIO IN SEL」設定により、VTR 音声入力信号を切替える事が出来ます。
- (e) MENU「A2:EDIT SWITCHER SEL」設定により、EDIT スイッチを押したとき DUB に強制的に切替える事が出来ます。
- (f) DUB 選択中点灯します。

※VTR が LOCAL 状態から REMOTE にした場合、現在の ATMT 状態 (LINE,TEST,DUB 何れか) に戻します。

3-7. EXT/INTスイッチ（上記外観図 ⑦）



接点動作 : モーメンタリ-

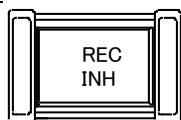
スクリーン色 : 乳白/乳白色

LED色 : アンバー/緑色

- (a) LOCAL 又は REM-1 の時、押すごとに VTR 記録時の TC を EXT/INT と切替えます。
- (b) VTR 記録時の TC が EXT の場合、EXT がアンバー色点灯します。
- (c) VTR 記録時の TC が INT の場合、INT が緑色点灯します。
- (d) VTR 側で記録時の TC を設定しても表示が切り替わります。

※REM-1 設定時、上位からの REC マンドによる MENU「72:REC-C TCG PRESET」は INT 設定時に行われます。

3-8. REC INHスイッチ（上記外観図 ⑧）



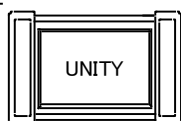
接点動作 : モーメンタリ-

スクリーン色 : 赤色

LED色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、VTR の REC INH を FREE と ALL に切り替えます。
- (b) VTR の REC INH が ALL の時に点灯します。
- (c) VTR の REC INH が FREE の時に消灯します。
- (d) 装填されたテープが REC-INH(ALL)設定の場合は点灯します。
- (e) HDD5-VTR では ALL 又は FREE 以外が選択された場合は点滅します。
- (f) VTR にて REC INH を変更しても点灯/消灯します。

3-9. UNITYスイッチ（上記外観図 ⑨）



接点動作 : モーメンタリ-
スクリーン色 : 乳白色
LED色 : アンバー色

- (a) LOCAL時、VTRのビデオ／オーディオの入出力をUNITYに設定します。
- (b) VTRのビデオ・オーディオ入出力が1つでもUNITY以外に設定されると消灯します。（MENU「01:ATMT MODE SEL」設定に点滅も可能です）
- (c) VTRのビデオ・オーディオ入出力が全てUNITYの時は点灯します。
（MENU「01:ATMT MODE SEL」設定により消灯も可能です）
- (d) MENU「06:UNITY SW MASK」設定にて本スイッチを有効／無効にするかを切替え可能です。（HDCAMの場合は無効がデフォルトになっています）

※UNITYスイッチを押してからUNITY状態に変わるまでATMTからVTRへ設定内容を送信する関係上、約2秒間かかります。

※各VTRのUNITY判定条件については、37ページ「各VTRのUNITY判定条件について」を参照して下さい。

3-10. TEST REC スイッチ（上記外観図 ⑩ ）

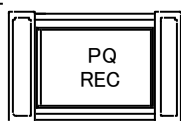


接点動作 : モーメント
スクリーン色 : 赤色
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、ENTRY スイッチを押しながら、TEST REC スイッチを押すと、VTR はテープ冒頭まで自動で巻き戻しを行います。
- (b) VTR 入力を内部 SG (CB、1kHz) に切替えます。
- (c) テープ始端で STOP し、MENU「92:TEST REC TCG SET」及び「91:TEST REC PRESET」で設定した TIMECODE 値を TCG に PRESET 可能です。
- (d) MENU「90:TEST REC TIME」で設定した記録時間に従い REC した後に STOP します。この後、VTR 入力は実行前に戻します。
- (e) この一連の動作中、TEST REC スイッチが点灯します。
- (f) TEST REC 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら TEST REC スイッチを押すと、TEST REC 動作を中断します。

※TEST REC シークス中に ON AIR 列-起動にて PLAY コマンドが発行されても TEST REC シークスはそのまま継続されます。

3-11. PQ-REC スイッチ（上記外観図 ⑪）



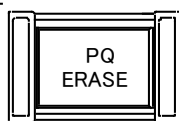
接点動作 : モーメント
スクリーン色 : 赤色
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 選択中、VTR が STOP 状態の時、ENTRY スイッチを押しながら、PQ-REC スイッチを押すと、VTR は PQ-REC シークスを実行し、STOP CODE 及びガイド用の 400Hz CUE TONE を記録します。※
- (b) この一連の動作中、PQ-REC スイッチが点灯します。
(途中で記録不可になると「ピピピッ」とエラー終了音が鳴ります)
- (c) PQ-REC 動作中に STOPCODE を検出すると、PQ が 2 重打ちとならないように PQ-REC 動作を中止します。
- (d) MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により、記録後自動で PQ-PB を行い、STOPCODE が記録されていることを確認することが出来ます。
- (e) PQ-REC 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-REC スイッチを押すと、PQ-REC 動作を中断します。

※CUE UP 中は 2 重書き禁止の為、PQ-REC 動作に入りません。

※PQ-REC シークス中に ON AIR 列-起動にて PLAY コマンドが発行されても PQ-REC シークスはそのまま継続されます。

3-12. PQ-ERASE スイッチ（上記外観図 ⑫）



接点動作 : モーメント
スクリーン色 : 白色
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、PQ-PB 完了ランプ点灯中、ENTRY スイッチを押しながら PQ-ERASE スイッチを押すと VTR は PQ-ERASE シーケンスを実行し、STOP CODE 及び 400HzCUE TONE を消去します。
- (b) この一連の動作中、PQ-ERASE スイッチが点灯します。
(途中で記録不可になると「ピピピッ」とエラー終了音が鳴ります)
- (c) MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により、消去後、自動で PQ が消去されていることを確認することができます。
- (d) PQ-ERASE 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-ERASE スイッチを押すと、PQ-ERASE 動作を中断します。

※PQ-ERASE シーケンス中に ON AIR 列-起動にて PLAY コマンドが発行されても PQ-ERASE シーケンスはそのまま継続されます。

3-13. RIS/完了スイッチ（上記外観図 ⑬）



接点動作 : モーメンタリ-

スクリーン色 : 乳白/乳白色

LED色 : アンバー/緑色

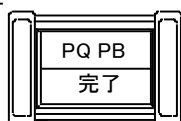
- (a) LOCAL 時、VTR が STOP の時、ENTRY スイッチを押しながら RIS スイッチを押すと VTR はテープ冒頭まで REW 後、CTL がカット可能な速度で始端より MENU「80:RIS FORWARD TIME」で設定した時間-5 秒後の位置に頭出しし、5 秒間 PLAY して STOP し、RIS 完了ランプを点灯します。
- (b) この一連の動作中、RIS スイッチがアンバー色点灯します。
- (c) RIS 動作完了で STOP したとき完了ランプが緑色点灯します。
- (d) VTR が STOP 以外又は LOCAL になった時に消灯します。
- (e) MENU「83:RIS END CTL RESET」設定により VTR の CTL をリセットする事ができます。
- (f) RIS 完了表示灯が点灯状態で REC 制御が行われた場合、MENU「85:AUTO PQ-REC TIME」で設定した秒数に自動で PQ-REC (STOPCODE と CUE TONE 記録) が実施され、PQ-REC 完了後も REC 動作を継続します。
- (g) 自動で PQ-REC をするかしないかを MENU「84:RIS END PQ-REC」で設定可能です。
- (h) RIS 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら RIS スイッチを押すと、RIS 動作を中断します。

※RIS シークス中に ON AIR 切り起動にて PLAY コマンドが発行されても RIS シークスはそのまま継続されます。

※RIS 完了後の自動 PQ-REC がエラー完了した場合、ATMT エラー音を出すと共に ENTRY を点滅させます。ENTRY スイッチを押すことによりブザー音が停止し ENTRY の赤色点滅が解除されます

※RIS 完了後の自動 PQ-REC は MENU「94:AUTO PQ-REC TIME」によりフレーム単位で記録位置を微調整可能です。(デフォルト 11 秒 00 フレーム)

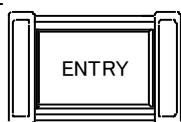
3-14. PQ-PB/完了スイッチ（上記外観図 ⑭）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : 乳白/乳白色
LED 色 : アンバー/緑色

- (a) LOCAL 時、ENTRY スイッチを押しながら PQ-PB スイッチを押すと、VTR は PLAY 状態になり、STOP CODE を検知すると VTR はストップします。
この時、完了ランプが緑色点灯します。
- (b) STOP 後 VTR の CTL 値を MENU「44:PQ-PB END CTLSET」及び MENU「45:PQ-PB CTL PRESET」により設定可能です。
- (c) この一連の動作中、PQ-PB ランプがアンバー色点灯します。
- (d) PQ ストップしたとき完了ランプが緑色点灯します。
- (e) 停止位置から CTL で±10F 以上変化した時、消灯します。
- (f) PQ-PB 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-PB スイッチを押すと、PQ-PB 動作を中断します。

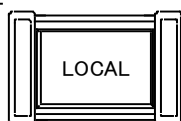
3-15. ENTRY スイッチ（上記外観図 ⑮）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : 乳白色
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、各動作（TEST REC、PQ REC、PQ ERASE、PQ PB、RIS、強制 OK）を実行する時に同時押しします。
- (b) ENTRY ランプの点滅及びブザー出力を停止します。
- (c) 押している間点灯します。
- (d) OA 外-入力中、REMOTE 及び ST-REM から「LOCAL」または「EDIT-1」または「EDIT-2」スイッチを押下することにより点滅します。

3-16. LOCALスイッチ（上記外観図 ⑯）



接点動作 : モーメンタリ-
スクリーン色 : 乳白色
LED色 : アンバー色

- (a) アタッチメントのバックライトスイッチまたは、VTRの操作バックライトで操作を可能にします。
- (b) ATMTがLOCALでVTRがREMOTE状態かつファリス入力供給されている時は、点灯します。
- (c) VTRがLOCAL状態になっている時は点滅します。
- (d) リファリス入力が無い場合は点滅します。
- (e) LOCALが選択された場合、HD-VTRの編集モード（インサート、アッセンブルモード）を解除します。

※LOCALスイッチを押してからLOCALに切り替わるまでATMTからVTRへ設定内容を送信する関係上、約1秒間かかります。

※LOCALに切り替わるとATMTの全てのスイッチ操作が可能ですが、MENUによりUNITYスイッチを無効にする事が可能です。

※TEST REC、PQ-REC、PQ-ERASE シークス中は他の制御系選択は禁止されます。

※PQ-PBとRISシークス中はREM-1 → LOCAL及びLOCAL → REM-1の選択が可能です。それ以外の制御系選択は禁止します。但し、REM-1 → LOCALに切替えた時はATMTエラー音が鳴りENTRYが赤色点滅します。ENTRYスイッチを押すことによりブザー音が停止しENTRYの赤色点滅が解除されます。

※各シークス中REM-1 → LOCALに切替えた場合は動作は継続します。

※各シークス中、EDIT,REM-2には切り替わりません。

3-17. HDCAM 表示灯（上記外観図 ⑰ ）



スクリーン色 : 白色

LED 色 : アンバー色

- (a) ATMT の制御対象 VTR 設定が HDCAM 選択時のみ点灯します。
- (b) ATMT の VTR 設定は、MENU「02:FORMAT SEL」にて行います。

3-18. HD D5 表示灯（上記外観図 ⑱ ）

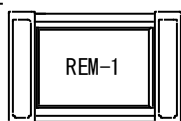


スクリーン色 : 白色

LED 色 : アンバー色

- (a) ATMT の制御対象 VTR 設定が HD D5 選択時のみ点灯します。
- (b) ATMT の VTR 設定は、MENU「02:FORMAT SEL」にて行います。

3-19. REM-1 スイッチ（上記外観図 ⑱ ）



接点動作 : モーメンタリ-
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンバー色

- (a) REM-1 端子からのコマンドにより制御します。
- (b) VTR が REMOTE 状態で ATMT が REM-1 選択時のみ点灯します。
- (c) REM-1 選択状態で VTR が LOCAL になっている時、又は VTR REMOTE に何も接続されていない場合は点滅します。
- (d) REM-1 が選択された場合、HD-VTR の編集モード（インサート、アッセンブルモード）を解除します。

※REM-1 スイッチを押してから REM-1 に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

※REM-1 選択時の PQ-REC, TEST-REC, PQ-ERASE, RIS シークス中は REM-1 からの STOP/STILL コマンドのみ受け付けます。

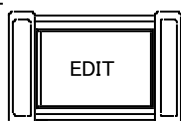
※REM-1 選択時の PQ-PB シークス中は REM-1 からの REM-1 からの PLAY, FF, REW, STOP/STILL コマンドのみ受け付けます。

※REM-1 選択時の REC 中は REM-1 からの STOP/STILL, TC/TM1, CTL RESET コマンドのみ受け付けます。

※REM-1 選択時の PLAY 中は OA TALLY 受け付け時以外、REM-1 からのコマンドは全て受け付けます。

※REM-1 選択時の REC 中に LOCAL 選択は可能ですが、それ以外には切り替わりません。

3-20. EDIT スイッチ（上記外観図 ⑳ ）



接点動作 : モーメンタリ-
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンバー色

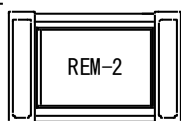
- (a) EDIT 選択時、リアパネルの EDIT からのシリアル通信により VTR の制御を可能とします。
- (b) VTR が REMOTE 状態で ATMT が EDIT 選択時のみ点灯します。
- (c) VTR が LOCAL になっている時または、EDIT になにも接続されていない時、等編集機と VTR 間で通信が行われてない時、ランプが点滅します。
- (d) EDIT が選択された場合、HD-VTR の編集モード（インサート、アッセンブルモード）を解除します。

※EDIT スイッチを押してから EDIT に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

※EDIT 設定時、通信が途切れると COM ERROR になりますが、MENU 「08:EDIT COM ER MASK」設定により ERROR をマスクすることが可能です。

▲MENU08 追加(改訂2008/10/09)

3-21. REM-2 スイッチ（上記外観図 ㊦ ）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンバー色

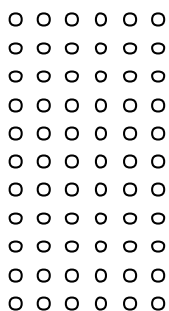
- (a) REM-2 選択時、REM-2 からのシリアル通信により VTR の制御を可能とします。
- (b) VTR が REMOTE 状態で ATMT が REM-2 選択時のみ点灯します。
- (c) VTR が LOCAL になっている時または、REM-2 になにも接続されていない時、等編集機と VTR 間で通信が行われてない時、ランプが点滅します。
- (d) REM-2 が選択された場合、HD-VTR の編集モード（インサート、アッセンブルモード）を解除します。

※REM-2 スイッチを押してから REM-2 に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

※REM-2 設定時、通信が途切れると COM ERROR になりますが、MENU 「08:EDIT COM ER MASK」設定により ERROR をマスクすることが可能です。

▲MENU08 追加(改訂2008/10/09)

3-22. ブザー（上記外観図 ②）



- (a) PQ-PB 時 STOP CODE を検知すると検出音（BEEP）を出力します。
- (b) MENU の設定により BEEP1～BEEP4、ブザー-OFF が選べます。

※ブザー-音量は以下の5種類です。

- OFF : ブザー-音なし
- BEEP1 : ブザー-小 VAR（フロント[°] 基板の RV1 で音量調整が可能）
- BEEP2 : ブザー-小 MAX（最大音量）
- BEEP3 : ブザー-大 VAR（メニュー-スイッチ基板の RV1 で音量調整が可能）
- BEEP4 : ブザー-大 MAX（最大音量）

※ブザー-音が選べる MENU は以下の7種類です。

- "50:DET-BEEP SW" : STOPCODE の検出、停止音（デフォルト BEEP1）
- "53:ATMT ERR BEEP SW" : ATMT 号機灯[°] リンクエラー時（デフォルト BEEP 4）
- "54:OPE BEEP SW" : スイッチ操作音（デフォルト BEEP 1）
- "55:OPE ERR1 BEEP SW" : スイッチ操作を受付けない音（デフォルト BEEP 1）
- "56:OPE ERR2 BEEP SW" : READY 状態からはずれ時（デフォルト BEEP 4）
- "57:CONT ERR BEEP SW" : 操作実行中エラー終了した時（デフォルト BEEP1）

※その他の STOPCODE 検出音設定

"51:DET-BEEP MODE" : 検出音を鳴らす条件の設定（デフォルト ALL）

PQPB : PQPB 時 STOPCODE 検出音を鳴らす

ALL : 常時 STOPCODE 検出時に鳴らす

"52:DET-BEEP ON-AIR" : ONAIR 中の検出音設定（デフォルト DISABLE）

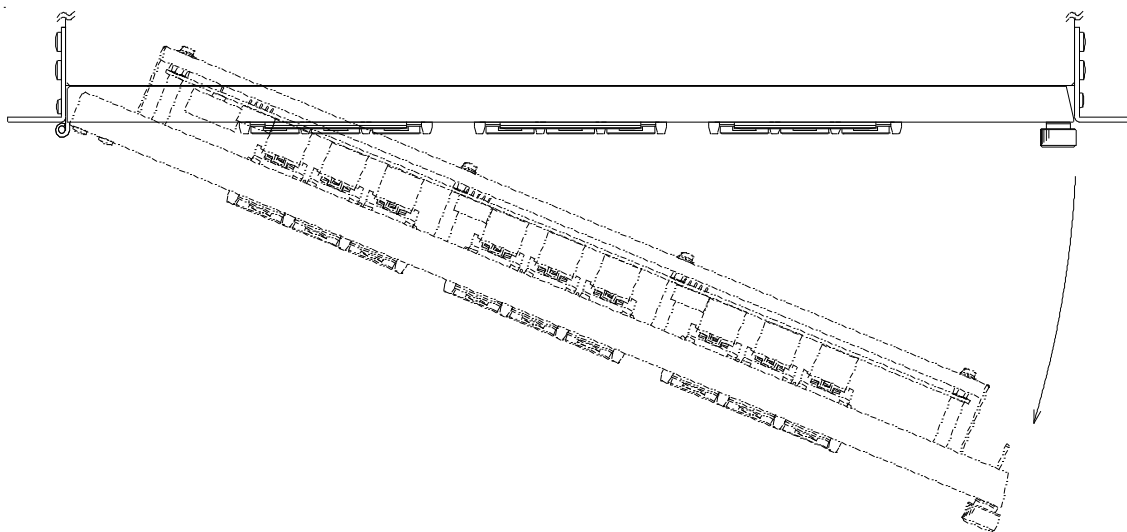
DISABLE : ONAIR 中 STOPCODE 検出音を鳴らさない

ENABLE : ONAIR 中 STOPCODE 検出音を鳴らす

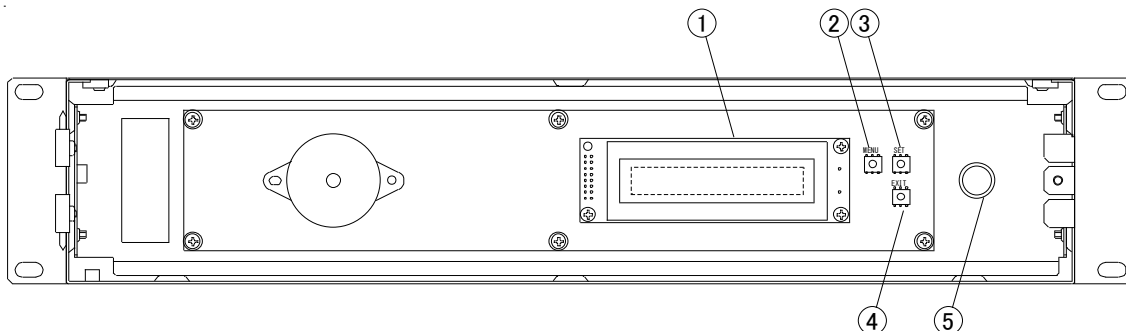
3-23. フロントパネル固定ネジ（上記外観図 ㉓）



- (a) フロントパネル開口部を固定するためのネジです。
- (b) MENU 設定する時は、ネジを回してフロントパネルを開きます。

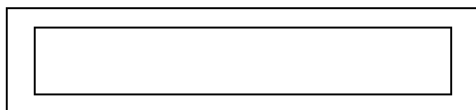


4. MENU 操作パネル



※フロントパネルは開閉式になっており、中に MENU 操作パネルがあります。

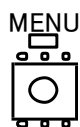
4-1. LCD 表示器（上記外観図 ①）



- (a) カスタマイズ設定等を行うための MENU 表示器です。
- (b) MENU スイッチを押すことにより MENU モードに移行します。
- (c) 通常はステータス表示器として機能します。
- (d) ERROR 発生時は現在発生している ERROR 内容*がサイクリック表示されます。（複数 ERROR が同時発生してる場合、1 秒毎に現在発生している ERROR 内容が切り替わり表示されます）

*エラーコードの詳細については、「6-3. ERROR 表示について」を参照して下さい。

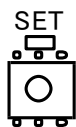
4-2. MENU スイッチ（上記外観図 ②）



接点動作 : モーメンタリー

- (a) MENU スイッチを押すと LCD 表示器にメニュー（設定項目）が表示され、MENU スイッチ上隣の LED が点灯します。
- (b) MENU スイッチ LED 点灯中 EXIT スイッチを押すことによりメニューが終了し、MENU スイッチ LED が消灯します。

4-3. SETスイッチ（上記外観図 ③）



接点動作 : モーメンタリー

- (a) SETスイッチを押すとLCD表示器に表示されている設定項目がセットされます。
- (b) SETスイッチは押した瞬間のみSET上隣のLEDが点灯します。
- (c) SETスイッチを押してMENU内容が確定した時に短い音「ピッ」が鳴ります。

4-4. EXITスイッチ（上記外観図 ④）



接点動作 : モーメンタリー

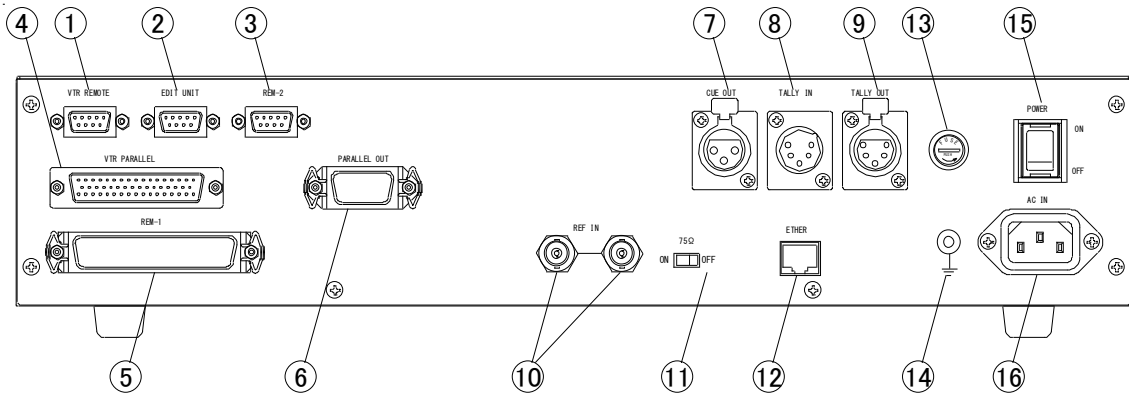
- (a) EXITスイッチを押すとLCD表示器に表示されている現在の設定項目をセットしないで抜けることができます。
- (b) EXITスイッチは押した瞬間のみEXIT上隣のLEDが点灯します。

4-5. MENU設定用ツマミ（上記外観図 ⑤）



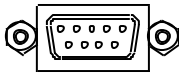
- (a) MENU設定用ツマミを回すことにより、MENU設定項目を変更することができます。
- (b) MENUスイッチ左隣のLED点灯中のみ機能します。

5. リアパネル



5-1. VTR REMOTE コネクタ（上記外観図 ①）

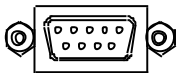
VTR REMOTE



- (a) コントロールする VTR の REMOTE-1 IN(9P)コネクタと接続します。
- (b) LOCAL 時、MCI-3200 から VTR をコントロールします。
- (c) EDIT 時、編集機などから直接 VTR をコントロールします。

5-2. EDIT UNIT コネクタ（上記外観図 ②）

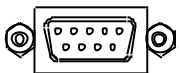
EDIT UNIT



- (a) 編集機などコントローラの REMOTE(9P)コネクタと接続します。

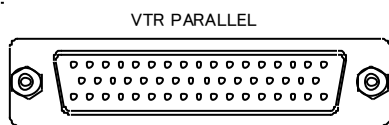
5-3. REM-2 コネクタ（上記外観図 ③）

REM-2



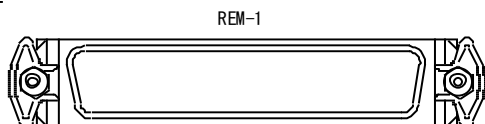
- (a) 編集機などコントローラの REMOTE(9P)コネクタと接続します。
- (b) 詳細はコネクタピッチサイン/REM-2 コネクタを御参照下さい。

5-4. VTR PARALLEL コネクタ（上記外観図 ④）



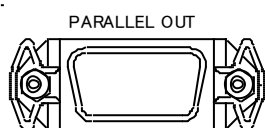
- (a) VTR の PARA I/O コネクタと接続します。（SONY 製 VTR のみ使用します）
- (b) 詳細はコネクタ・ピンプライム／VTR PARALLEL コネクタを御参照下さい。

5-5. REM-1 コネクタ（上記外観図 ⑤）



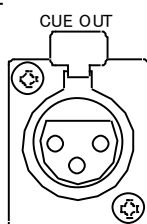
- (a) 上位システムからのパラレル制御を接続します。
- (b) パラレル制御を RS-422A に変換して VTR をコントロールします。
- (c) REM-1 コネクタからの制御は VTR がリモート状態の時のみ有効です。
- (d) 詳細はコネクタ・ピンプライム／REM-1 コネクタを御参照下さい。

5-6. PARALLEL OUT コネクタ（上記外観図 ⑥）



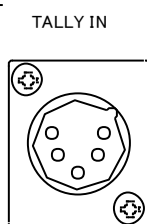
- (a) スイッチャと接続します。
- (b) 詳細はコネクタ・ピンプライム／PARALLEL OUT コネクタを御参照下さい。

5-7. CUE OUT コネクタ（上記外観図 ⑦）



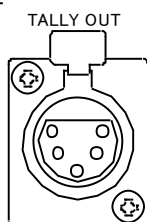
- (a) VTR の CUEトラックへがっぱ用の CUE TONE を記録する時、VTR の CUE IN コネクタと接続します。
- (b) 詳細はコネクタピンサイン／CUE OUT コネクタを御参照下さい。

5-8. TALLY IN コネクタ（上記外観図 ⑧）



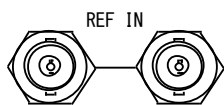
- (a) 上位システムからの OA TALLY を接続します。
- (b) 詳細はコネクタピンサイン／TALLY IN コネクタを御参照下さい。

5-9. TALLY OUT コネクタ（上記外観図 ⑨）



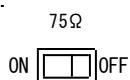
- (a) 外部に OA TALLY 情報が必要な時、使用します。
- (b) 詳細はコネクタピンサイン／TALLY OUT コネクタを御参照下さい。

5-10. REF IN コネクタ (上記外観図 ⑩)



- (a) 局内同期信号を入力します。
- (b) 1125(3 値 SYNC)/525(B.B)の入力に自動対応しています。
- (c) REF IN のスルー出力ができます。
(使用するときは、75Ω 終端 SW は OFF にします。)

5-11. 75Ωスイッチ (上記外観図 ⑪)



- (a) 75Ωスイッチにより 75Ω 終端の ON/OFF 設定ができます。

5-12. Ether コネクタ (上記外観図 ⑫)



- (a) Ether NET (100BASE T) 制御ポートです。
- (b) ソフト Version Up、エラーログ、コマンドログ出力などで使用します。

5-13. FUSE ホルダー (上記外観図 ⑬)



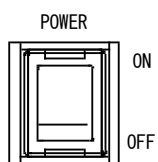
- (a) 2A のヒューズを使います。

5-14. アース端子（上記外観図 ⑭）



(a) 必要に応じて、電源アースと接続します。

5-15. POWER スイッチ（上記外観図 ⑮）



(a) 電源の ON/OFF するためのスイッチです。

5-16. AC IN コネクタ（上記外観図 ⑯）

(a) 付属の電源コード^{*}を使って、電源コンセントに接続します。

6. コネクターピンアサイン

6-1. REM-1コネクタ

アンフェノール 50S

※入出力欄はATMT側を示します。

No.	入出力	名称	機能	備考
1	IN	C-GND	フロント コモン	
2	IN	PLAY	VTRをPLAYします。	REF入力なしでも動作可能
3	IN	PQ PB	PQ PB動作します。(次頁③参照)	検出後、PQ PB完了をON
4	IN	RIS	REWし、始端指定した秒数後に停止します。	動作終了後、RIS完了をON
5	IN			
6	IN	STOP/STILL	VTRをSTOPまたはSTILLにします。(次頁④参照)	REF入力なしでも動作可能
7	IN	REC	VTRをRECします。(次頁⑬参照)	REF入力なしでも動作可能
8	IN	REW	50倍速でREWします。	REF入力なしでも動作可能
9	IN	FF	50倍速でFFします。	REF入力なしでも動作可能
10	IN	PQ REC	PQ信号を記録します。	(次頁⑥参照)
11	IN	PQ ERASE	PQ STOPしたPQ信号を消去します。	READY ON状態であること
12	IN	STBY ON/OFF	VTRをスタンバイON/OFFにします。	REF入力なしでも動作可能
13	IN	UNITY SET	VTRの映像/音声、入出力レベルをUNITYに設定します。	
14	IN	REC INHIBIT	FREE/REC INHを切り換えます。	
15	IN			
16	IN	REMOTE-2IN THROUGH	ATMTをEDITモードに切り換えます。	REF入力なしでも動作可能
17	IN	STBY ON	VTRをスタンバイONにします。	REF入力なしでも動作可能
18	IN	EJECT	テープをEJECTします。	REF入力なしでも動作可能
19	IN			
20	IN	REM-1	ATMTをREM-1モードに切り換えます。	REF入力なしでも動作可能
21	IN	LOCAL	ATMTをLOCALモードに切り換えます。	REF入力なしでも動作可能
22	IN	TC/TM1	TC、タイム1を切り換えます。	
23	IN	CTL RESET	タイム1をリセットします。	
24	IN	TAPE/EE	VTRのVIDEO出力のTAPE/EEを切り換えます。	
25	IN	STBY OFF	VTRをスタンバイOFFにします。	REF入力なしでも動作可能
26	OUT	S-GND	リア コモン	
27	OUT	PLAY	PLAY中ONになります。▲(改訂2008/04/30)	9PINのPLAYステータス Bitを監視 (次頁⑦参照)
28	OUT	PQ PB	PQ PB中ONになります。	
29	OUT	STBY ON	STBY ON中ONになります。	STBY OFFでOFFします。
30	OUT	STOP/STILL	STOP/STILL中ONになります。	(次頁⑧参照)
31	OUT	RIS 中	RIS中ONになります。	
32	OUT	REC	REC中ONになります。	
33	OUT	REW	REW中ONになります。	
34	OUT	FF	FF中ONになります。	
35	OUT	PQ REC	PQ REC中ONになります。	(次頁⑩参照)
36	OUT	PQ ERASE	PQ ERASE中ONになります。	
37	OUT	RIS 完	RIS完了時ONになります。	
38	OUT	REC INHIBIT	VTRがREC INHIBITになった時、ONになります。	FREEの時OFFします。
39	OUT	PQ PB 完	PQ PB完了時、ONになります。	(次頁⑨参照)
40	OUT	TAPE THREAD	VTRにテープがある時、ONになります。	(次頁⑫参照)
41	OUT	REMOTE-2IN THROUGH	ATMTがEDITモードの時、ONになります。	
42	OUT	CUE DETECT	STOP CODE検出時、ONになります。	UBで検出します。
43	OUT			
44	OUT	TIMER MODE	VTRがTIMER1モードの時、ONになります。	
45	OUT	REM-1 MODE	ATMTがREM-1モードの時、ONになります。	
46	OUT	LOCAL MODE	ATMTがLOCALモードの時、ONになります。	
47	OUT	ERROR STATUS	ATMT又はVTRがエラー状態の時ONになります。	
48	OUT	TC MODE	VTRがTCモードの時、ONになります。	TIMERモードでOFFします。
49	OUT	TAPE MODE	VTRがTAPEモードの時、ONになります。	EEモードでOFFします。
50	OUT	+24V DC OUT	+24V DC OUT (MAX 120mA)	

REM-1 コネクタ

- ① REM-1 コネクタからのコマンド及びステータスの受け渡しは REM-1 スイッチ点灯時に有効です。 ※但し、ERROR ステータス及び REM-1/LOCAL 切り換えは除外
 - ② ATMT が VTR と制御状態になると VTR のコントロールパネルで設定したイサート、アセンブル状態を解除します。
 - ③ PQ-PB の動作仕様は、フロントパネルにある ENTRY/PQ-PB スイッチを同時に押した時の検知動作と同じです。
 - ④ VTR のドラムが停止している時は、ドラムを回転(ST-BY ON)させます。 VTR が走行中は、ストップになります。
 - ⑤ OA TALLY を受けている間は下記の動作になります。
 - ・フロントパネルにある ON AIR 表示が赤く点灯します。
 - ・OA TALLY を受けると VTR のコントロールパネルが無効になります。 *
 - ・OA TALLY を受けると PQ-PB 機能は無効となり、PQ-PB 動作中に PQ 信号を検知しても、VTR はストップしません。 *
 - ・OA TALLY を受けると VTR は PLAY になります。 *
 - ・OA TALLY を受けている間、REM-1 コネクタからの制御を禁止できます。 *
 - ⑥ PQ-REC の動作仕様は、フロントパネルにある ENTRY/PQ-REC スイッチを同時に押した時の動作と同じです。
 - ⑦ PQ-PB ステータスはフロントパネルの ENTRY/PQ-PB スイッチが同時に押され、PQ-PB 動作になっている間又は、REM-1 コネクタに PQ-PB コマンドを受けて PQ-PB 動作になっている間出力します。
 - ⑧ VTR が、STOP 状態でかつドラムが回転している時に点灯します。 *
 - ⑨ PQ PB 完ステータスは PQ-PB 機能により、PQ 信号を検出して VTR がストップしている間出力します。(ストップ位置が CTL で 15F 以上移動した場合は消灯)
 - ⑩ PQ-REC ステータスはフロントパネルの ENTRY/PQ-PB スイッチが同時に押され、PQ-REC 動作になっている間又は、REM-1 コネクタに PQ-REC コマンドを受けて PQ-REC 動作になっている間出力します。
 - ⑪ ERROR ステータスは、アタッチメントが REM-1 選択時のみ出力するか、どの状態でも出力するかを MENU にて設定可能です。 *
 - ⑫ TAPE THREAD ステータスは、アタッチメントが REM-1・REM-2 選択時出力します。 LOCAL 選択時は出力するかを MENU にて設定可能です。 *
 - ⑬ MENU「72:REC-C TCG PRESET」により REC 時 TIMECODE の PRESET が可能です。(MENU「84:RIS END PQ-REC」が DISEBLE の時のみ) *
- * MENU の設定によります。

6-2-1. VTR PARALLEL コネクタ (HDW-1800/2000 シリーズの 50PIN とストレート接続)

HDCAM ※使用ピン欄は、MCI-3200 の機能を正常に動作させるために必要なピンです。
 HDDB-50S 又、入出力欄は VTR 側を示します。 #はユーザー設定が可能なピン

No.	入出力	名称	変更データ値	デフォルト設定	使用ピン
1	IN	REC INHI ON/OFF IN	72,00,12,FE,01,00	#F.F	○
2	OUT			REC SW OUT	
3	OUT			PLAY SW OUT	
4	OUT			STOP SW OUT	
5	OUT			ENTRY SW OUT	
6	OUT			REF SYSTEM ALARM OUT	
7	OUT			CF LOCK OUT	
8	OUT			DRUM LOCK OUT	
9	OUT			CAP LOCK OUT	
10	OUT	REC INHIBIT	02,02,08,01,00,00	#CUE PRESET OUT	○
11	OUT			#TC PRESET OUT	
12	OUT			#OXIDE/METAL OUT	
13	OUT			#TAPE THICKNESS	
14	OUT			SPARE	
15	OUT			SPARE	
16		+12V OUT			○
17		C-GND			○
18	IN			#PREROLL IN	
19	IN			#ST-BY ON IN	
20	IN			#REW IN	
21	IN	LOCAL ENABLE	71,00,55,FC,02,00	#ENTRY IN	○
22	IN	LOCAL DISABLE	71,00,55,FC,00,00	#ST-BY OFF IN	○
23	IN			#EJECT IN	
24	OUT			REC OUT	
25	OUT			CH CNDITION RED OUT	
26	OUT	SP TAPE-S	02,02,2B,01,00,00	#ASSEMBLE PRESET OUT	○
27	OUT	REMOTE 50P	02,00,19,01,00,00	#EDIT OUT	○
28	OUT			#EJECT OUT	
29	OUT			#ANALOG/DEGITAL OUT	
30	OUT			#REEL HUB OUT	
31	OUT			REM2 SETTING DATA RESET OUT	
32	OUT			ALL REC INHIBIT OUT	
33		S-GND			○
34	IN			#PLAY IN	
35	IN			#STOP IN	
36	IN			#REC IN	
37	OUT			REV LAMP OUT	
38	OUT			#DA2 PRESET OUT	
39	OUT			#DA1 PRESET OUT	
40	OUT			FWD LAMP OUT	
41	OUT			#DA4 PRESET OUT	
42	OUT			#DA3 PRESET OUT	
43	OUT			STOP OUT	
44	OUT			#VIDEO PRESET OUT	
45	OUT			#INSERT PRESET OUT	
46	OUT			STBY ON OUT	
47	OUT			PLAY OUT	
48	OUT			REMOTE OUT	
49	OUT			ALARM OUT	
50	OUT			#PREROLL OUT	

6-2-2. VTR PARALLEL コネクタ (HDW-500(P)の 50PIN とストレート接続)

HDCAM ※使用ピン欄は、MCI-3200 の機能を正常に動作させるために必要なピンです。

Hddb-50S 又、入出力欄は VTR 側を示します。 #はユーザー設定が可能なピン

No.	入出力	名称	変更データ値	デフォルト設定	使用ピン
1	IN	REC INHI ON/OFF IN	72,00,05,FE,01,00	#F.F	○
2	OUT			REC SW OUT	
3	OUT			PLAY SW OUT	
4	OUT			STOP SW OUT	
5	OUT			ENTRY SW OUT	
6	OUT			REF SYSTEM ALARM OUT	
7	OUT			CF LOCK OUT	
8	OUT			DRUM LOCK OUT	
9	OUT			CAP LOCK OUT	
10	OUT	REC INHIBIT	02,02,08,01,00,00	#CUE PRESET OUT	○
11	OUT			#TC PRESET OUT	
12	OUT			#OXIDE/METAL OUT	
13	OUT			#TAPE THICKNESS	
14	OUT			SPARE	
15	OUT			SPARE	
16		+12V OUT			○
17		C-GND			○
18	IN			#PREROLL IN	
19	IN			#ST-BY ON IN	
20	IN			#REW IN	
21	IN	LOCAL ENABLE	71,00,0F,FC,02,00	#ENTRY IN	○
22	IN	LOCAL DISABLE	71,00,0F,FC,00,00	#ST-BY OFF IN	○
23	IN			#EJECT IN	
24	OUT			REC OUT	
25	OUT			CH CNDITION RED OUT	
26	OUT			#ASSEMBLE PRESET OUT	
27	OUT	REMOTE 50P	02,00,4C,01,00,00	#EDIT OUT	○
28	OUT			#EJECT OUT	
29	OUT			#ANALOG/DEGITAL OUT	
30	OUT	REMOTE 9P	02,00,4B,01,00,00	#REEL HUB OUT	○
31	OUT			REM2 SETTING DATA RESET OUT	
32	OUT			ALL REC INHIBIT OUT	
33		S-GND			○
34	IN			#PLAY IN	
35	IN			#STOP IN	
36	IN			#REC IN	
37	OUT			REV LAMP OUT	
38	OUT			#DA2 PRESET OUT	
39	OUT			#DA1 PRESET OUT	
40	OUT			FWD LAMP OUT	
41	OUT			#DA4 PRESET OUT	
42	OUT			#DA3 PRESET OUT	
43	OUT			STOP OUT	
44	OUT			#VIDEO PRESET OUT	
45	OUT			#INSERT PRESET OUT	
46	OUT			STBY ON OUT	
47	OUT			PLAY OUT	
48	OUT			REMOTE OUT	
49	OUT			ALARM OUT	
50	OUT			#PREROL OUT	

VTR 不揮発性RAMの設定法についてはSONYのVTRマニュアルをご覧ください。

操作例 (SONY HDW-M2000 のマニュアル参照)

- ① HDW-M2000 の電源を入れます。
- ② フロントパネル上の[HOME]を押しながら[MENU]を選択します。
ダイヤルつまみを回して「M3: OTHERS」を選び[SET]を押します。
OTHERS 階層に入ります。
- ③ 次に、ダイヤルつまみを回して「M39: 50PIN DATA ASSIGN」を選び
[SET]を押します。
- ④ ダイヤルつまみを回して「M390: INPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を
押します。変更するピンNo. のデータにあわせ、[HOME]を押しながら
ダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。
- ⑤ 終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。
ダイヤルつまみを回して「M391: OUTPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を
押します。変更するピンNo. のデータにあわせ、[HOME]を押しながら
ダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。
- ⑥ 終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。

6-3. PARALLEL OUT コネクタ



6-4. VTR REMOTE コネクタ

D-SUB 9PIN メス座

No.	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	VTR REM RX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
3	VTR REM TX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
4	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
5	N.C	
6	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
7	VTR REM RX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
8	VTR REM TX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
9	FG	フレーム GND

6-5. EDIT UNIT コネクタ

D-SUB 9PIN メス座

No.	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	EDIT TX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
3	EDIT RX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
4	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
5	N.C	
6	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
7	EDIT TX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
8	EDIT RX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
9	FG	フレーム GND

6-6. REM-2 コネクタ

D-SUB 9PIN メス座

No.	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	REM-2 TX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
3	REM-2 RX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
4	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
5	N.C	
6	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
7	REM-2 TX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
8	REM-2 RX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
9	FG	フレーム GND

6-7. CUE OUT コネクタ

XLR-3-32F77 (XLR3PIN メス座)

No.	名称	動作
1	COMMON	信号 GND
2	CUE OUT+	オーディオ信号レベル (平衡+)
3	CUE OUT-	オーディオ信号レベル (平衡-)

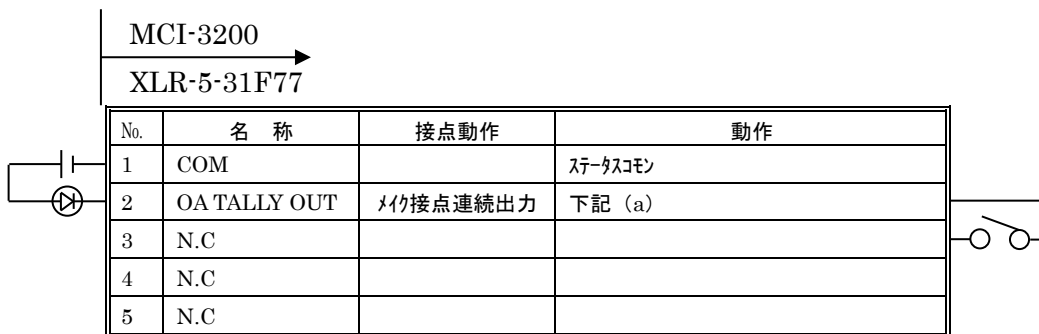
6-8. TALLY IN コネクタ



TALLY IN コネクタ

- (a) OA TALLY-C は常時有効です。
 - (b) OA TALLY 中、REM-1 からの ST-BY ON、EDIT、REM-1、LOCAL、TC/TM1、CTL RESET、TAPE/EE 及び MENU 設定コマンドのみ受け付けます。※STOP、ST-BY ON/OFF は OA TALLY 中 ST-BY ON のみ受け付け可能です。
- ▲列-条件追加変更(改訂2008/11/17)

6-9. TALLY OUT コネクタ



TALLY OUT コネクタ

- (a) OA TALLY OUT は、TALLY IN コネクタに OA TALLY-C を受けている間出力します。

7. MENU

7-1. MENU 設定について

①バージョン情報及び各 VTR 及び ATMT 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
00:SYSTEM INFO	表示のみ	VER H01 S0100-19 S2 などバージョン情報を表示*	—
01:ATMT MODE SEL	STUDIO	スタジオ用 ATMT UNITY 中点灯、UNITY 外消灯	○
	ON AIR	送出用 ATMT UNITY 中消灯、UNITY 外点滅	
02:FORMAT SEL	AJ-HD580	コントロールする VTR を松下 AJ-HD580 に設定	
	AJ-HD2000	コントロールする VTR を松下 AJ-HD2000 に設定	
	AJ-HD3000	コントロールする VTR を松下 AJ-HD3000 に設定	
	AJ-HD3700H	コントロールする VTR を松下 AJ-HD3700H に設定	
	AJ-HD3700A	コントロールする VTR を松下 AJ-HD3700A に設定	
	AJ-HD3700B	コントロールする VTR を松下 AJ-HD3700B に設定	
	AJ-HD3730	コントロールする VTR を松下 AJ-HD3730 に設定	
	HDW-500	コントロールする VTR を SONY HDW-500 に設定**	
	HDW-500(50P)	コントロールする VTR を SONY HDW-500(50P)に設定**	
	HDW-A2100	コントロールする VTR を SONY HDW-A2100 に設定	
	HDW-2000	コントロールする VTR を SONY HDW-2000 に設定	○
	HDW-S2000	コントロールする VTR を SONY HDW-S2000 に設定	
	HDW-M2000	コントロールする VTR を SONY HDW-M2000 に設定	
HDW-1800	コントロールする VTR を SONY HDW-1800 に設定		
03:STBY OFF TIM-S	DISABLE	ATMT からの ST-BY OFF タイマ設定は行いません	○
	30sec	ATMT のタイマ設定により ST-BY OFF***	
	01min		
	03min		
	05min		
	08min		
	15min		
30min			
04:STBY OFF TIM-P	DISABLE	ATMT からの ST-BY OFF タイマ設定は行いません	○
	30sec	ATMT のタイマ設定により ST-BY OFF***	
	01min		
	03min		
	05min		
	16min		
INFINITI (∞)	ST-BY OFF しません		
05:STILL OFF TIM-P	DISABLE	ATMT からの STILL OFF タイマ設定は行いません	○
	30sec	ATMT のタイマ設定により STILL OFF***	
	01min		
	03min		
	05min		
06:UNITY SW MASK	OFF	UNITY スイッチは有効です(松下の場合デフォルト)****	○P
	ON	UNITY スイッチを無効にします(SONY の場合デフォルト)	○S
07:REF ERR MASK	OFF	REF トラは有効です	○
	VTR	VTR からの REF トラを無効にします	
	ATMT	ATMT の REF トラを無効にします	
	ALL	VTR と ATMT の REF トラを無効にします	
08:EDIT COM ER MASK	OFF	COM トラは有効です	○
	EDIT	EDIT 選択時に COM トラを無効にする	
	REM2	REM2 選択時に COM トラを無効にする	
	EDIT/REM2	EDIT 及び REM2 選択時に COM トラを無効にする	

▲MENU08 追加(改訂2008/10/09)

* "VER H01 S0100-19 S2" 表示の意味について

"H01" : PLD のバージョン番号

"S0100-19" : ファームのバージョン番号

"S2" : 保守情報

** HDW-500 に設定すると REMOTE 1-IN(9P)のみで制御します。HDW-500(50P) に設定すると REMOTE 2 PARALLEL I/O(50P)でも制御します。又、HDW-500(50P)を選択した場合は、別売りの BKDW-509 を装着して下さい。

*** 03:STBY OFF TIM-S の設定項目は SONY 製 VTR 専用の STBY OFF タイマ値設定です。04:STBY OFF TIM-P 及び 05:STILL OFF TIM-P は松下製 VTR 専用の STBY OFF 及び STILL OFF タイマ値設定です。

**** 06:UNITY SW MASK 設定は工場出荷時はデフォルト SONY (HDW-2000) の為に UNITY スイッチ操作を禁止しています。松下製 VTR の場合、デフォルト値は UNITY スイッチ操作を有効にしています。

※02:FORMAT SEL を切り替えると、以下の設定内容がデフォルト値として読み込まれます。

松下製 VTR 設定一覧表

メニュー	AJ-HD580	AJ-HD2000	AJ-HD3000	AJ-HD3700H	AJ-HD3700A	AJ-HD3700B	AJ-HD3730
32:PQ-REC STPCD TRIM	4	4	5	4	6	5	4
34:PQ-REC EDTON TRIM	10	9	10	8	10	10	8
35:PQ-REC EDTOF TRIM	10	9	10	8	10	10	8
42:PQ-PB STOP TRIM	6	6	7	7	6	6	7
43:PQ-PB STILL TRIM	7	8	8	8	7	7	8
82:RIS STOP TRIM	-6	-6	-7	-7	-6	-6	-7

▲AJ-HD3000,3700H/A/B のパラメーター変更(改訂2007/12/11)

SONY 製 VTR 設定一覧表

メニュー	HDW-500	500(50P)	HDW-A2100	HDW-2000	HDW-S2000	HDW-M2000	HDW-1800
32:PQ-REC STPCD TRIM	4	4	1	1	1	1	1
34:PQ-REC EDTON TRIM	13	13	13	13	13	13	13
35:PQ-REC EDTOF TRIM	0	0	0	0	0	0	0
42:PQ-PB STOP TRIM	6	6	6	6	6	6	6
43:PQ-PB STILL TRIM	6	6	6	6	6	6	6
82:RIS STOP TRIM	-6	-6	-6	-6	-6	-6	-6

▲HDW-500 のパラメーター変更(改訂2007/12/11)

※各 VTR の UNITY 判定条件について以下の表に○がついている項目を判定しています。

松下製 VTR の UNITY 判定一覧表

設定項目	AJ-HD580	AJ-HD2000	AJ-HD3000	AJ-HD3700H	AJ-HD3700A	AJ-HD3700B	AJ-HD3730
Inp V doLvl	○	○	○	○	○	○	○
Out V doLvl	○	○	○	○	○	○	○
Out Setup Lvl	○	○	○	○	○	○	○
Out Chroma Lvl	○	○	○	○	○	○	○
Out Vdo Hue	○	○	○	○	○	○	○
Out Vdo Phase	○	○	○	○	○	○	○
Hd Inp YLvl	×	×	×	×	×	×	×
Hd Inp PbLvl	×	×	×	×	×	×	×
Hd Inp PrLvl	×	×	×	×	×	×	×
Hd Out YLvl	×	×	×	×	×	×	×
Hd Out PbLvl	×	×	×	×	×	×	×
Hd Out PrLvl	×	×	×	×	×	×	×
Hd Out Setup	×	×	×	×	×	×	×
Aud 1234 InpLvl	○	○	○	○	○	○	○
Aud 1234 OutLvl	○	○	○	○	○	○	○
Aud Cue In Lvl	○	○	○	○	○	○	○
Aud Cue Out Lvl	○	○	○	○	○	○	○
Aud Out Phase	○	○	○	○	○	○	○
Aud 5678 Inp Lvl	×	×	×	○	○	○	○
Aud 5678 Out Lvl	×	×	×	○	○	○	○

SONY 製 VTR の UNITY 判定一覧表

設定項目	HDW-500	HDW-500(50P)	HDW-A2100	HDW-2000	HDW-S2000	HDW-M2000	HDW-1800
Inp V doLvl	×	×	×	×	×	×	×
Out V doLvl	○	○	○	○	○	○	○
Out Setup Lvl	○	○	○	○	○	○	○
Out Chroma Lvl	○	○	○	○	○	○	○
Out Vdo Hue	○	○	○	○	○	○	○
Out Vdo Phase	×	×	×	×	×	×	×
Hd Inp YLvl	×	×	×	×	×	×	×
Hd Inp PbLvl	×	×	×	×	×	×	×
Hd Inp PrLvl	×	×	×	×	×	×	×
Hd Out YLvl	○	○	○	○	○	○	○
Hd Out PbLvl	○	○	○	○	○	○	○
Hd Out PrLvl	○	○	○	○	○	○	○
Hd Out Setup	○	○	×	×	×	×	×
Aud 1234 InpLvl	○	○	×	○	○	○	○
Aud 1234 OutLvl	○	○	○	○	○	○	○
Aud Cue In Lvl	×	×	×	○	○	○	○
Aud Cue Out Lvl	×	×	○	○	○	○	○
Aud Out Phase	○	○	○	○	○	○	○
Aud 5678 Inp Lvl	×	×	×	×	×	×	×
Aud 5678 Out Lvl	×	×	×	×	×	×	×

▲HDW-500 のパラメーター変更(改訂2007/12/11)

②CONFIG BANK 設定

▲MENU 番号変更(改訂2008/10/09)

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
G0:CONFIG BANK LOAD	Non	ATMT の設定情報を LOAD しません	○
	BANK1	ATMT の設定情報を BANK1 から LOAD します	
	BANK2	ATMT の設定情報を BANK2 から LOAD します	
	BANK3	ATMT の設定情報を BANK3 から LOAD します	
	BANK4	ATMT の設定情報を BANK4 から LOAD します	
	BANK5	ATMT の設定情報を BANK5 から LOAD します	
	BANK6	ATMT の設定情報を BANK6 から LOAD します	
	BANK7	ATMT の設定情報を BANK7 から LOAD します	
	BANK8	ATMT の設定情報を BANK8 から LOAD します	
G1:CONFIG BANK SAVE	Non	ATMT の設定情報を SAVE しません	○
	BANK1	ATMT の設定情報を BANK1 に SAVE します	
	BANK2	ATMT の設定情報を BANK2 に SAVE します	
	BANK3	ATMT の設定情報を BANK3 に SAVE します	
	BANK4	ATMT の設定情報を BANK4 に SAVE します	
	BANK5	ATMT の設定情報を BANK5 に SAVE します	
	BANK6	ATMT の設定情報を BANK6 に SAVE します	
	BANK7	ATMT の設定情報を BANK7 に SAVE します	
	BANK8	ATMT の設定情報を BANK8 に SAVE します	

G0:CONFIG BANK LOAD について

- ・ 予め保存した ATMT 設定情報を読み込みます。
つまみを回して BANK No.を選び、SET スwitchを押すことにより設定情報を読み出すことが可能です。

※CONFIG BANK LOAD 後、自動的に再起動します

G1:CONFIG BANK SAVE について

- ・ ATMT の設定情報を最大 8 パターン SAVE 可能です。
つまみを回して BANK No.を選び、SET スwitchを押すことにより設定情報を保存することが可能です。

③ERROR LOG 設定

▲MENU 番号変更(改訂2008/10/09)

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
H0:ERR-LOG	00~99	00~99 エラーログ表示	00
H1: ERR-LOG SAVE	SAVE	エラーログの保存	○
	EXIT	そのまま抜ける	
H2: ERR-LOG ERASE	EXIT	そのまま抜ける	○
	ERASE	エラーログの消去	

H0:ERR-LOG について

本機で検知されるエラーは以下の内容です。

このエラーが、LCD 下段のサイクリック表示 及び エラーログされるものです。

- ・ ログ表示例: 50PIN のスイッチが LOCAL になっていた場合。

"H0:ERR-LOG >000 5:01"

" E1061:50P LOC ER" 50PIN が LOCAL になっていた (最後のログ)

"H0:ERR-LOG >001 FULL"

" E1052:VTR LOC ER" 9PIN LOCAL になっていた (最後の次のログ)

上の行の>3桁の数字は、ログ番号 "000~999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。

上の行の一番後ろに記述してある "5:01" は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。(秒:フレーム単位)

例えば、"5:01" は前回の変化から 5 秒 01 フレーム後のログを表します。

時間表示範囲は"0:00" (0 秒 0 フレーム) ~ "9:29" (9 秒 29 フレーム) です。

※ "9:29" (9 秒 29 フレーム) 以上経過している場合は<FULL

下の行先頭の数字"E????"はエラーコードです。

エラーの種類を表します。

- ・ 号機等点滅エラー 関係 (発生時, Beep と エラーログ と LCD に周回表示)

- "E1010:EXT REF ER" : 本機へのリファレンス入力が途絶えた場合
- "E1020:VTR COM ER" : ATMT<->VTR との RS422 通信が途絶えた場合
- "E1030:EDT COM ER" : EDIT<->VTR との RS422 通信が途絶えた場合
- "E1040:RM2 COM ER" : REM-2<->VTR との RS422 通信が途絶えた場合
- ※ "E1050:SNS ER****" : 周期センス(TcExt/Int,RecInhi,Unity 状態等)エラー
- "E1051:VTR H/W ER" : VTR から H/W ERROR のアンサーがあった場合
- "E1052:VTR LOC ER" : VTR から Vtr Local のアンサーがあった場合
- "E1053:VTR REF ER" : VTR から Ref Miss のアンサーがあった場合
- ※ "E1054:VTR SVO ER" : VTR から Pana Servo err のアンサーがあった場合
- ※ "E1055:VTR CCL ER" : VTR から Pana Conceal err のアンサーがあった場合
- ※ "E1060:50P OFF ER" : VTR から VTR 50P Off err のアンサーがあった場合
- ※ "E1061:50P LOC ER" : VTR から VTR 50P Local err のアンサーがあった場合

※"****"はサービスマンコードです

※E1054 ,E1055 は松下製 VTR のみのエラーです。

※E1060 ,E1061 は SONY 製 VTR のみのエラーです。

・ 操作時に発生するエラー 関係 (発生時, Beep と エラーログ)

- "E2010:VTR NotRdy" : VTR が 通信断,Local,NoTape 等である
 - "E2011:VTR NotStp" : PQREC/RIS 操作時 VTR が 停止していない
 - "E2012:VTR NotDet" : PQERA 操作時 VTR が PGPB 完 状態でない
 - "E2013:VTR DetStp" : PQREC 操作時 VTR が PGPB 完 状態である
 - "E2014:VTR RecIhi" : REC 系操作時 VTR が REC 禁止状態である
 - "E2015:VTR NotTm1" : REM1 の CtlReset 操作時 VTR が TM1 状態でない
 - "E2016:VTR REC " : VTR が 収録中(※主に REM1 操作時)
 - "E2020:ATMT BUSY1" : ATMT が処理中(Swr 切替,ExtInt,RecInhi,Unity 等)
 - "E2021:ATMT BUSY2" : ATMT が処理中(TestRec,PqRec/Era,PqPb,Ris 等)
 - "E2022:ATMT ABOT1" : 強制中断(Line/Test/Dub,TcExt/Int,RecInhi,Unity 等)
 - "E2023:ATMT ABOT2" : 強制中断(TestRec,PqRec/Era,PqPb,Ris 等)
 - "E2024:ATMT PGPB " : PGPB 動作中(OA 起動等で PGPB を重複起動した場合等)
 - "E2030:OA INHI " : OA 中
 - "E2040:RMT SEL ER" : LOCAL,REM1,EDIT,REM2 選択状態エラー
 - "E2041:UNITY MASK" : UNITY SW マスク中 (※UNITY 操作時)
- ・ 各処理が正常終了しなかった場合のエラー (発生時, Beep と エラーログ)

"E9010:INIT *****": 初期設定通信 終了完了
(※起動時や通信断からの復帰時の通信等)
"E9011:LcDis *****": Local Dis コマンドエラー完了(※OA 時や REM1 選択時等)
"E9011:LcEna *****": Local Ena コマンドエラー完了
"E9011:STBON *****": Standby-On 通信終了完了(※タイマー設定も含)
"E9011:PLAY *****": PLAY コマンド 通信 終了完了
"E9011:OAPLY *****": OA 起動での PLAY コマンド 通信 終了完了
"E9011:REC *****": REC コマンド 通信 終了完了
"E9011:STOP *****": STOP コマンド 通信 終了完了
"E9011:STILL *****": STILL コマンド 通信 終了完了(※JOG Still)
"E9011:FF *****": FF コマンド 通信 終了完了
"E9011:REW *****": REW コマンド 通信 終了完了
"E9011:EJECT *****": EJECT コマンド 通信 終了完了
"E9011:STBOF *****": Standby-Off 通信 終了完了
"E9011:TC/TM *****": TIMER MODE SELECT 通信 終了完了
"E9011:CTLRS *****": Ctl Reset 通信 終了完了
"E9011:TP/EE *****": TAPE/AUTO SELECT 通信 終了完了
(※E9011 終了は REM1 操作によるコマンド 通信終了完了です)

※"*****"はサービスマンコードです

"E9020:LINE *****": "LINE" 操作時の通信終了完了
"E9021:TEST *****": "TEST" 操作時の通信終了完了
"E9022:DUB *****": "DUB" 操作時の通信終了完了
"E9030:TCSEL *****": "EXT/INT" 操作時の通信終了完了
"E9031:RECIH *****": "RECINHI" 操作時の通信終了完了
"E9032:UNITY *****": "UNITY" 操作時の通信終了完了
"E9040:TSREC *****": "TEST REC" 操作時の通信終了完了
"E9041:PQREC *****": "PQ REC" 操作時の通信終了完了
"E9042:PQERA *****": "PQ ERA" 操作時の通信終了完了
"E9043:PQPB *****": "PQ PB" 操作時の通信終了完了
"E9044:RIS *****": "RIS" 操作時の通信終了完了
"E9045:TCREC *****": "TC SET & REC" 操作時の通信終了完了
(※REM1 の REC 操作によるコマンド 送信等)
"E9050:LOCAL *****": "LOCAL" 操作時の通信終了完了

"E9051:REM1 *****": "REM1" 操作時の通信エラー完了

"E9052:EDIT *****": "EDIT" 操作時の通信エラー完了

"E9053:REM2 *****": "REM2" 操作時の通信エラー完了

※"*****"はサービスマンコードです

・参考

本ユニット電源投入時、または、通常使用中において、
H/W 故障や致命的なバグに関連するような不具合が発生した場合、
LCD 上段表示に "SYSTEM ERROR ~" と表示されます。
この表示が出た場合は、修理を依頼して下さい。

※ 例：起動時にメモリ異常が検知された場合等

LCD 上段: "SYSTEM ERROR BOOT"

LCD 下段: "E0006:SRAM ER"

※ 致命的なエラーなので、ログ処理自体が信用出来ない場合も
あり、システムエラーはログしていません。

※ ERR-LOG は COM-LOG にも同様にエラー内容が記録されます

H1:ERR-LOG SAVE について

・エラーログを保存したい時 SAVE します。

※ MCI-3200 の電源を切るとエラーログが消えてしまいますが、SAVE すること
によりエラーログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

H2:ERR-LOG ERAS について

・エラーログを消去したい時に ERASE します。

④COMMAND LOG 設定

▲MENU 番号変更(改訂2008/10/09)

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
J0:COM-LOG	000~999	000~999 コマンドログ表示	000
J1:COM-LOG SAVE	SAVE	コマンドログの保存	○
	EXIT	そのまま抜ける	
J2:COM-LOG ERASE	EXIT	そのまま抜ける	○
	ERASE	コマンドログの消去	

J0: CMD-LOG について

- ・ ログ表示例: REM-1 GPI の PQPB が操作された場合

"J0:CMD-LOG >000 0:15"

" REM1:PQPB-0" PQPB が離された (最後のログ)

"J0:CMD-LOG >001 9:29"

" REM1:PQPB-1" PQPB が押された (最後の次のログ)

上の行の>3桁の数字は、ログ番号 "000~999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。(エラーログも記録されます)

上の行の一番後ろに記述してある "0:15" は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。(秒:フレーム単位)

例えば、"0:15" は前回の変化から 0 秒 15 フレーム後のログを表します。

時間表示範囲は"0:00" (0 秒 0 フレーム) ~ "9:29" (9 秒 29 フレーム) です。

※ "9:29" (9 秒 29 フレーム) 以上経過している場合は<FULL

下の行先頭のアルファベット "REM1","VTR","PNL","OATALLY"は GPI の入力ポートを表します。

" REM1" は REM-1 ネットからのログを示します。

" VTR " は VTR ネットからのログを示します。

" PNL" はフロントパネル操作によるログを示します。

下の行先後のアルファベットはコマンド又はステータスを表します。

下の行の後ろに付いている "-0"又は"-1"はコマンドの立ち下がり、立ち上がりを表しています。

"-1" は立ち下がりを示します。

"-0" は立ち上がりを示します。

- ・ REM-1 GPI 入力コマンドログ表示

"REM1:PLAY"

"REM1:PQPB"
"REM1:RIS"
"REM1:STP/STL"
"REM1:REC"
"REM1:REW"
"REM1:FF"
"REM1:PQREC"
"REM1:PQERA"
"REM1:STBY"
"REM1:UNITY"
"REM1:RECINHI"
"REM1:EDIT"
"REM1:STBYON"
"REM1:EJECT"
"REM1:REM1"
"REM1:LOCAL"
"REM1:TC/TM1"
"REM1:CTLRST"
"REM1:TP/EE"
"REM1:STBYOFF"

・ フォント^o 初操作による入力コマンドログ表示

"PNL:LINE"
"PNL:TEST"
"PNL:DUB"
"PNL:EXT/INT"
"PNL:RECINHI"
"PNL:UNITY"
"PNL:TESTREC"
"PNL:PQREC"
"PNL:PQERA"
"PNL:RIS"
"PNL:PQPB"
"PNL:ENTRY"
"PNL:LOCAL"
"PNL:HDCAM"

"PNL:HDD5"

"PNL:REM1"

"PNL:EDIT"

"PNL:REM2"

・ VTR GPI ステータス ログ 表示

"VTR:RECINHI"

"VTR:SPTAPE"

"VTR:REM50P"

"VTR:PWR" : (VTR 50P 電源 BIT)

・ TALLY IN ステータス ログ 表示

"OATALLY"

・ 動作ログ関係 (※PLAY/STOP 関連のみ)

"RCP PLAY" : "PLAY" 要求を受付

"RCP STOP" : "STOP" 要求を受付

"RCP PQPБ" : "PQPБ" 要求を受付

"SND PLAY" : PLAY を送信

"SND STOP" : STOP を送信

"SND STILL" : STILL を送信 (※JOG STILL)

"EXE PQPB" : PQPB の実行開始

H1: COM-LOG SAVE について

- ・ コマンドログを保存したい時 SAVE します。

※ MCI-3200 の電源を切るとコマンドログが消えてしまいますが、SAVE することによりコマンドログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

H2: COM-LOG ERASE について

- ・ コマンドログを消去したい時に ERASE します。

⑤PQ-REC 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
------	------	----	---------

30:PQ-REC TIME	01S00F~31S00F	PQ-REC 開始点の時間設定	01S00F.
31:PQ-REC PREROL SEC	1S~5S	PQ-REC 時のプリロール設定	3S
32:PQ-REC STPCD TRIM	00F~30F	STOP CODE 記録位置の微調整	01F
33:PQ-REC CUETN TRIM	00F~30F	CUE TONE 記録位置の微調整	01F
34:PQ-REC EDTON TRIM	00F~30F	PQ-REC EDIT ON 開始点の微調整*	13F
35:PQ-REC EDTOF TRIM	00F~30F	PQ-REC EDIT OFF タイミングの微調整*	00F
36:PQ-REC PLAY BACK	DISABLE	PQ-REC(PQ-ERASE) PLAYBACK 機能無効	
	ENABLE	PQ-REC(PQ-ERASE) PLAYBACK 機能有効	○
38:REC TCG DELAY	DEFAULT	REC-C TCG PRESET の REC-C 送信遅延設定	○
	00F		
	05F		
	10F		
	15F		
	20F		
	25F		
	30F		

▲MENU38 追加(改訂2008/04/30)

* 34:PQ-REC EDTON TRIM について 補足

PQ-REC EDTON TRIM は VTR の EDIT ON タイミングを微調整できます。
VTR が EDIT ON するまでの遅延時間を設定します。

デフォルト設定では、VTR (HDW-2000) が EDIT ON するまでの遅延時間が
8 フレームなので余白を加算して 13F に設定されています。(U-BIT プレートは 1 フレーム)
このことは、8 フレーム前に EDIT ON コマンドを ATTACHMENT から投げることで
VTR の EDIT ON タイミングが書き込み開始位置と一致するという意味です。

⑥PQ-PB 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
40:PQ-PB UP TIME	00S00F~30S00F	PQ-PB CUE UP 点の時間設定*	00S00F.
41:PQ-PB STOP MODE	STOP	CUE UP 時 STOP で停止	○
	STILL	CUE UP 時 STLL で停止	
42:PQ-PB STOP TRIM	00F~30F	STOP CODE での VTR 停止位置の微調整	06F
43:PQ-PB STILL TRIM	00F~30F	STOP CODE での VTR 停止位置の微調整	06F
44:PQ-PB END CTLSET	DISABLE	PQ-PB 完了時 CTL-PRESET しない	○
	ENABLE	PQ-PB 完了時 CTL-PRESET する	
45:PQ-PB CTL PRESET	00S00F~30S00F	PQ-PB 完了時の CTL 値を設定	00S00F

* 40:PQ-PB UP TIME について 補足

PQ-PB UP TIME は、ON AIR 開始点を基準にマイクス方向の静止時間を設定
します。PQ-REC TIME は必ず PQ-PB UP TIME より 1 秒以上マイクス方向に
設定して下さい。(STOP CODE が DETECT STOP 位置より手前に記録
されている必要があります)

⑦BEEP 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
50:DET-BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
51:DET-BEEP MODE	PQPB	PQ-PB 動作時のみ検出音を鳴らす	
	ALL	常時検出音を鳴らす	○
52:DET-BEEP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中に検出音を OFF	○
	ENABLE	ON-AIR 中に検出音を上記設定で鳴らす	
53:ATMT ERR BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
54:OPE BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
55:OPE ERR1 BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
56: OPE ERR2 BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
57:CONT ERR BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	

詳細は「3-22. ブザー」を参照して下さい。

"50:DET-BEEP SW" : STOPCODE の検出

"51:DET-BEEP MODE" : 検出音を鳴らす条件の設定

"52:DET-BEEP ON-AIR" : ONAIR 中の検出音設定

"53:ATMT ERR BEEP SW : ATMT 号機灯ブリンクエラー時

"54:OPE BEEP SW" : スイッチ操作音

"55:OPE ERR1 BEEP SW" : スイッチ操作を受付けない音

"56:OPE ERR2 BEEP SW" : READY 状態からはずれ時

"57:CONT ERR BEEP SW" : 操作実行中エラー終了した時

⑧ON AIR 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
60:DET STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止しない	○
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止する	
61: PLAY/PQ-PB ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 列-受付時コマンドを発行しない	○
	PLAY	ON-AIR 列-受付時 PLAY コマンドを発行	
	PQ-PB	ON-AIR 列-受付時 PQ-PB コマンドを発行	
62:REM PLAY-C ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付ける	○
63:REM PQ-PB ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付ける	○
64:REM STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付けない**	○
	ENABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付ける	
65:VTR INHI ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にしない	
	ENABLE	ON-AIR 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にする*	○

*** 65:VTR INHI ON-AIR について 補足**

SONY 製 VTR にて ON AIR 中 VTR の LOCAL KEY 設定を MAP にするには、VTR の不揮発性 RAM 設定を変更しなければなりません。又、HDW-500 の場合は HDW-500(50P)設定時のみ対応可能です。(別売りの BKDW-509 を装着)
(例 : HDW-2000 の場合は 50P の 22 ピンを MAP 71,00,55,FC,03,00 にする)

**** 64:REM STOP ON-AIR について 補足**

MENU 「64:REM STOP ON-AIR」が DISEBLE 設定時、ON AIR TALLY 中に上位(運行装置及びスタジオ)から STOP コマンドを受けた場合、VTR へ STOP は送信されませんが、ST-BY ON 及び ST-BY OFF タイマリセットのみ送信します。

▲MENU64 条件変更(改訂2008/11/17)

⑨REM-1 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
70:REM-1 STATUS OUT	REM	VTRがREM時のみREM-1 STATUSを出力	○
	LOC&REM	VTRがLOC時にもREM-1 STATUSを出力	
71:REM-1 REC-C SEL	REC-C	REC-Cを受けるとRECする	
	REC-C&PLAY-C	REC-CとPLAY-Cを同時に受けるとRECする	○
72:REC-C TCG PRESET	DISABLE	REM-1 REC時TCG-PRESETしない	○
	00:59:45:00	REM-1 REC時00:59:45:00をPRESETする	
	09:59:45:00	REM-1 REC時09:59:45:00をPRESETする	
74:REM STOP MODE SEL	STOP	STOP-Cを受けるとSTOPする	○
	STILL	STOP-Cを受けるとSTILLする	
75:REM STOP-S SEL	STOP&STBY	VTR停止中かつドライブが回転中STOP-Sを出力	○
	STOP	VTR停止中STOP-Sを出力	
76:VTR INHI REM-1	DISABLE	REM-1中VTRをLOCAL DISABLE/MAPにしない	
	ENABLE	REM-1中VTRをLOCAL DISABLE/MAPにする*	○
77:ERROR-S SEL	NORMAL	エラー発生時常に上位へERROR-Sを通知する	○
	REM-SW	エラー状態でREM-1 釦点灯時上位へERROR-Sを通知する	
78:LOCAL TAPE STS	DISABLE	LOCAL時TAPE THREADを出力しない	○
	ENABLE	LOCAL時TAPE THREADを出力する	

*** 72:REC-C TCG PRESET について 補足**

REC-C TCG PRESET はREC-Cを受けるとMENUで設定した値をTCG PRESETしてINT TC REC RUN動作をします。

TCG PRESETのCOLOR FRAMINGはOFFを設定します。

TCG PRESETのDF/NDFはDFモードを設定します。

MENU「38:REC TCG DELAY」によりTCG PRESET後のREC-C送信遅延設定が可能です。DEFAULTは10Fです。

※実際にREC動作するまではDEFAULT時、PRESET時間を含め約1秒程掛かります。

*** 76:VTR INHI REM-1 について 補足**

REM-1中VTRのLOCAL KEY設定をMAPにするには、VTRの不揮発性RAM設定を変更しなければなりません。又、HDW-500の場合はHDW-500(50P)設定時のみ対応可能です。(別売りのBKDW-509を装着)

(例：HDW-2000の場合は50Pの22ピンをMAP 71,00,55,FC,03,00にする)

⑩その他の設定

項目	設定項目	機能	デフォルト設定
80:RIS FORWARD TIME	00:00:00S~23:59:59S	RISの送り時間設定	00:00:55S
81:RIS FWD SPEED	00~99	RISの送り速度設定 10=1倍速, 99=MAX	40
82:RIS STOP TRIM	-30F~30F	RIS完了でのVTR停止位置の微調整	-6F
83:RIS END CTL RESET	DISABLE	RIS完了時VTRのCTLをRESETしない	
	ENABLE	RIS完了時VTRのCTLをRESETする	○
84:RIS END PQ-REC	DISABLE	RIS完了のRECで自動的にPQ-RECしない	
	ENABLE	RIS完了のRECで自動的にPQ-RECする	○
85:AUTO PQ-REC TIME	08S00F~15S00F	REC開始からのSTOPCODE記録開始時間設定	11S00F
90:TEST REC TIME	00:00:00S~23:59:59S	TEST RECの記録時間設定	00:01:00S
91:TEST REC PRESET	00:00:00S~23:59:59S	TEST REC時PRESETするTC値を設定	00:58:50S
92:TEST REC TCG SET	DISABLE	TEST REC時PRESETしない	
	ENABLE	TEST REC時PRESETする	○
93:TEST REC SEL	DISABLE	TEST REC時スイッチャになにもしない	
	ENABLE	TEST REC時スイッチャをTESTに固定	○
A0:REM-1 LINE SEL	DISABLE	REM-1時スイッチャになにもしない	
	ENABLE	REM-1時スイッチャをLINEに固定	○
A1:REM-2 LINE SEL	DISABLE	REM-2時スイッチャになにもしない	
	ENABLE	REM-2時スイッチャをLINEに固定する	○
A2:EDIT SWITCHER SEL	DISABLE	EDIT時スイッチャになにもしない	
	LINE	EDIT時スイッチャをLINEに固定する	○
	DUB	EDIT時スイッチャをDUBに固定する	
B0:LINE AUDIO IN SEL	ANALOG	LINE時、VTR音声入力信号をアナログにする	
	AES	LINE時、VTR音声入力信号をAESにする	○
	SERIAL	LINE時、VTR音声入力信号をシリアルにする	
B1:DUB AUDIO IN SEL	ANALOG	DUB時、VTR音声入力信号をアナログにする	
	AES	DUB時、VTR音声入力信号をAESにする	○
	SERIAL	DUB時、VTR音声入力信号をシリアルにする	
C0:LOCAL OUT SEL	TAPE	LOCAL時、VTR出力信号をTAPEにする	○
	EE	LOCAL時、VTR出力信号をEEにする	
C1:REM-1 OUT SEL	TAPE	REM-1時、VTR出力信号をTAPEにする	○
	EE	REM-1時、VTR出力信号をEEにする	
C2:REM-2 OUT SEL	TAPE	REM-2時、VTR出力信号をTAPEにする	○
	EE	REM-2時、VTR出力信号をEEにする	
C3:EDIT OUT SEL	TAPE	EDIT時、VTR出力信号をTAPEにする	○
	EE	EDIT時、VTR出力信号をEEにする	
D0:PQ-PB D3 STP TRM	00F~30F	D3テープでのPQ-PB STOP停止位置の微調整	04F
D1:PQ-PB D3 STL TRM	00F~30F	D3テープでのPQ-PB STILL停止位置の微調整	05F
D2:RIS D3 FWD SPEED	10~99	D3テープでのRISの送り速度設定	99
D3:RIS D3 STOP TRIM	-30F~30F	D3テープでのRIS完了VTR停止位置の微調整	-5F
E0:CONCEAL DET	DISABLE	CONCEALの検出をしない	
	ENABLE	CONCEALの検出をする	○
E1:OA CONCEAL ALARM	DISABLE	OA刈-なしでもアラームが出る	○
	ENABLE	OA刈-中のみアラームが出る	
E2:CONCEAL ON TIME	02S~17S	CONCEAL ERRORの積算判定時間設定*	04S
E3:CONCEAL OFF TIME	3S	CONCEALのOFF判定時間3秒*	○
	5S	CONCEALのOFF判定時間5秒	
E4:OA SERVO ALARM	DISABLE	PLAYコマンドのサーボアラームにOA刈-条件を入れな	
	ENABLE	PLAYコマンドのサーボアラームにOA刈-条件を入れる	○

* E2:CONCEAL ON TIME、E3:CONCEAL OFF TIME について補足

CONCEAL ERROR について約毎秒ステータスセンスを行い、当該 Bit が立っていたら設定条件により ERROR を出力します。

EXTENDED_ERROR_STATUS コマンド (1A.F3.FF) の「CONCEAL VIDEO」と「CONCEAL AUDIO」ビットを受信して ALARM 判定します。

判定条件は CONCEAL VIDEO と CONCEAL AUDIO ビットが MENU

「E2:CONCEAL ON TIME」設定時間「2~17 秒」(デフォルト 4 秒) ERROR が積算されたら CONCEAL ERROR とします。

MENU「E3:CONCEAL OFF TIME」設定時間「3 or 5 秒」(デフォルト 3 秒) ERROR が無かったら CONCEAL ON TIME の積算時間値をリセットします。

ERROR 検出後、ATMT エー音を出すと共に ENTRY を点滅させ、ERROR-S を出力します。※この時、号機灯は点滅します。

設定時間以上連続して「CONCEAL VIDEO」と「CONCEAL AUDIO」ビットが立っていなかった場合 (ERRER 無しだった場合) 号機灯は点灯に戻ります。ブザー音、ENTRY 点滅、ERROR-S 出力は ENTRY スイッチを押さない限り出力されます。

⑪SYSTEM 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
F0:UNIT ID	1~8	機器番号を設定します	1
F1:IP ADDRESS	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP ADDRESS を設定します	192.168.001.240
F2:IP SUBNET MASK	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP SUBNET MASK を設定します	255.255.255.000
F3:MAC ADDRESS	表示のみ	Ether NET の MAC ADDRESS を表示します	機器に依ります
F4:VTR STS MONI	表示のみ	各種 VTR ステータス	00
F5:LEVEL MONI	表示のみ	各種 LEVEL ステータス	00
F6:I/O CHECK MODE	000~999	メンテナンスでの機器テスト等で使用します	00
F7:F/W UPDATE MODE	DISABLE	通常設定	○
	ENABLE	ファームウェアバージョンアップ等で使用します	
	SILENT	ファームウェアバージョンアップ等で使用します(静音モード)	

F0:UNIT ID について

機器番号管理等で使用します。

F1:IP ADDRESS について

デフォルト時 “192.168.001.250” に設定されています。

複数の機器を LAN 接続する場合、機器毎に違う IP アドレスを設定して下さい。

F2:IP SUBNET MASK について

デフォルト時 “255.255.255.000” に設定されています。

サブネットマスクを設定して下さい。

F3:MAC ADDRESS について

Ethernet カード固有の物理アドレスです。
物理アドレスが表示されます。

F4:VTR STS MONI について

メンテナンスで使用します。
各種の VTR 状態が表示されます。

F5:LEVEL MONI について

メンテナンスで使用します。
VTR の映像・音声入出力レベル値が表示されます。

F6: I/O CHECK MODE について

メンテナンスで使用します。

- ①設定 “>020 : Led All” でフロントパネルの全 LED チェックが出来ます。
ランプが正常に機能しているか確認するのに便利です。
- ②設定 “>030 : Sw Panel” でフロントパネルの全 SW チェックが出来ます。
各スイッチが正常に機能しているか確認するのに便利です。
- ③設定 “>040 : Beep 1” ~ “>043 : Beep 4” でフロントパネルのブザー音
チェックが出来ます。
ブザーが正常に機能しているか確認するのに便利です。
- ④設定 “050 : Ref Io” で REF チェックモードに入ります。
機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。
REF 入力があるとき “02” ない場合 “03” 表示になります。
- ⑤設定 “>061 : CueTone On” で CUE TONE チェックモードに入ります。
機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。
CUE TONE 信号を発生します。
CUE TONE 信号のレベルを確認することができます。
- ⑥設定 “070 : GPI Test” で REM-1 スルーチェックモードに入ります。
機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。
REM-1 スルーチェックモードに入ると、押したスイッチに対しての
TALLY LED がそのまま返り点灯します。
外部 REMOTE 等のスイッチ入力及びパラルル接点出力の動作確認を
するのに便利です。

- ⑦設定“080: ReBoot Test”で SET 釦を押すことによりファームリスタートモードに入ります。(CPU のシステムリセットを行います。)
- ⑧設定“081: SysErr Test”で SET 釦を押すことにより SYSTEM ERROR 疑似発生モードに入ります。機能を抜ける場合には、電源を再投入してください。

F7: F/W UPDATE MODE について

LAN によるリモートメンテナンスで使用します。

ファームウェアの更新や設定情報の読み書き等で使用します。

7-2. MENU の初期化について

本ユニット電源投入時に ENTRY スイッチと LINE スイッチを同時押しで立ち上げると、MENU 設定項目が工場出荷時設定にイニシャライズされます。

※電源投入時、ENTRY と LINE 以外のスイッチは押さないように注意して下さい。

7-3. ERROR 表示について

エラーが発生した場合 LCD 表示器にエラーコード[®]を表示します

ERROR 表

エラー表示	エラー内容	処置内容
E1010:EXT REF ER	本機への REF が入力されていない	A
E1020:VTR COM ER	VTR との RS422 通信でエラーが発生しました	A
E1030:EDT COM ER	EDIT と VTR 間で通信断になりました	A
E1040:RM2 COM ER	REM2 と VTR 間で通信断になりました	A
E1050:SNS ER****	周期センス(TeExt/Int,RecInhi,Unity 状態等)エラーです	A
E1051:VTR H/W ER	VTR のハードウェア異常	B
E1052:VTR LOC ER	VTR が LOCAL になっています	A
E1053:VTR REF ER	VTR に REF が入力されていない	A
E1054:VTR SVO ER	Pana Servo err (※松下のみ)	B
E1055:VTR CCL ER	Pana Conceal err (※松下のみ)	B
E1060:50P OFF ER	VTR の REM50P が OFF になっています (※SONY のみ)	A
E1061:50P LOC ER	VTR の REM50P が Local になっています (※SONY のみ)	A
E2010～E2041	操作エラーです	A
E9010～E9053	コマンド 通信 エラー完了 (※PANEL 及び REM1 操作によるコマンド 通信等)	A
SYSTEM ERROR ～	自己診断リストで H/W 故障や致命的エラーが発生しました。	C

NOTE. A 操作手順、設置条件、接続ケーブル等を点検して下さい。

B 点検して下さい。症状によっては VTR の修理を依頼して下さい。

C 本機の修理を依頼して下さい。

****はサービスマンコードです

8. その他の機能

8-1 AUTO EDIT 自動解除機能について

- (a) ATMT が VTR と制御状態になると VTR のコントロール^レ 祿で設定したインサート、アッセンブル状態を解除します。

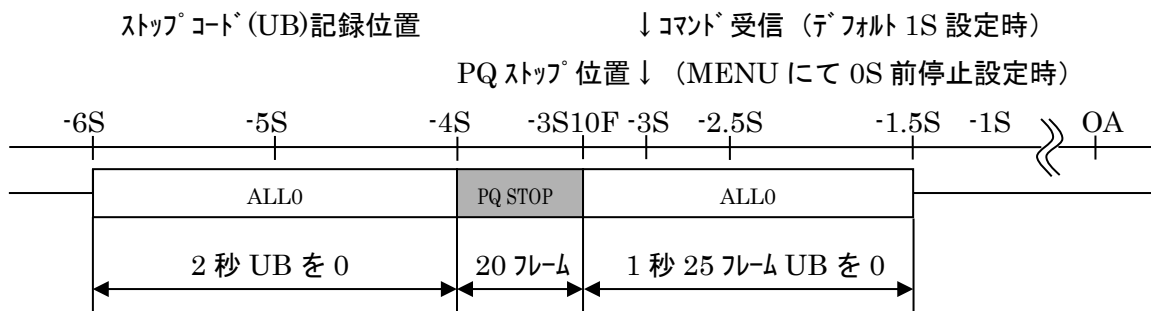
8-2 アラーム機能について

- (a) OA 取り入力で LOCAL スイッチ又は EDIT スイッチ又は REM-2 を押すと、アラームが鳴り、ENTRY ランプ^レ が点滅します。
- (b) アラームが鳴っているとき ENTRY スイッチを押すと、アラームが止まり、ENTRY ランプ^レ は消灯します。
- (c) VTR が LOCAL になっている間アラームが鳴ります。アラームが鳴っている時 ENTRY スイッチを押すと、アラームが止まります。
- (d) アタッチメントに正規のリファレンス信号が入力されていない時、アラームが鳴ります。アラームが鳴っている時「ENTRY」スイッチを押すと、アラームが止まります。
- (e) アタッチメントが REM-1 または EDIT または REM-2 の時に UNITY スイッチを押すとアラーム音が鳴ります。
- (f) アタッチメントが REM-1 または EDIT または REM-2 の時に REC INH スイッチを押すことにより、アラーム音が鳴ります。
- (g) READY 状態でアタッチメント LOCAL または EDIT または REM-2 にすることによりアラームが鳴ります。
- (h) (g) の場合 REM-1 スイッチを押すことにより、アラーム音が止まり、ENTRY ランプ^レ は消灯します。
- (i) PQ-REC または PQ-ERASE 時に CTL エラーが発生するとアラームが鳴ります。

9. PQフォーマット

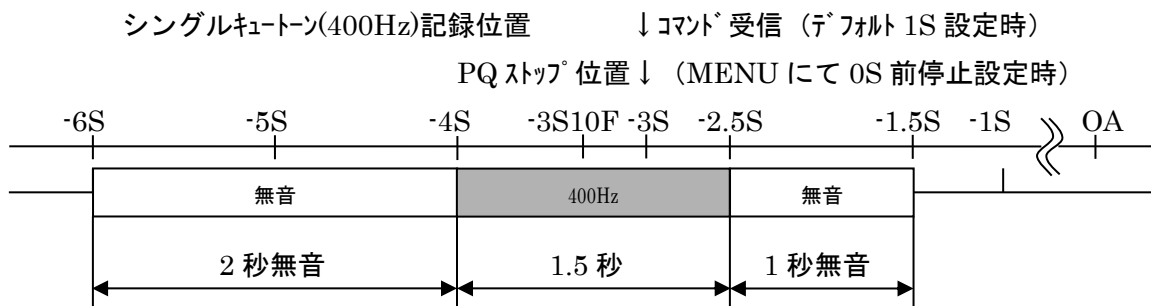
9-1. HDD5-VTR のストップコード記録フォーマット

種類	: SMPTE のタイムコード、ドロップフレームモード (LTC のユーザーズビットを使用)
記録トラック	: タイムコードトラック
記録位置	: 下記参照
記録/再生レベル	: 2.4Vp-p(10K Ω)/2.4Vp-p(H in p)
停止位置	: ON AIR 開始点



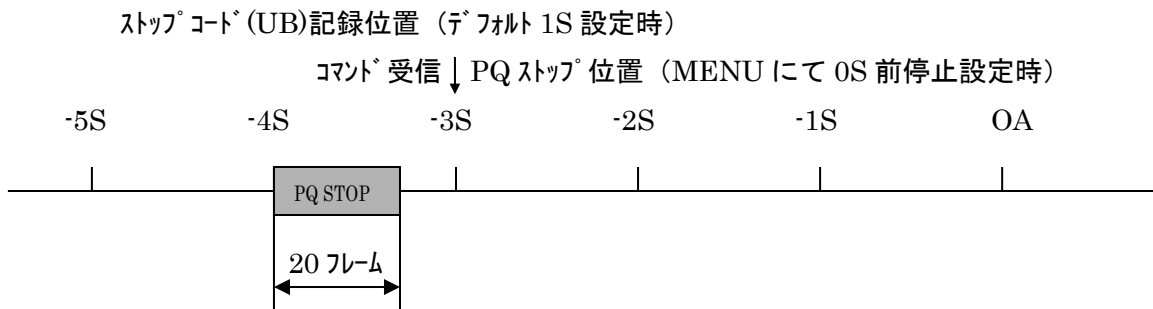
9-2. HDD5-VTR の確認用キュー記録フォーマット

種類	: トップ キュー (400Hz)
記録トラック	: キュートラック
記録位置	: 下記参照
記録レベル	: +4dBm
停止位置	: ON AIR 開始点



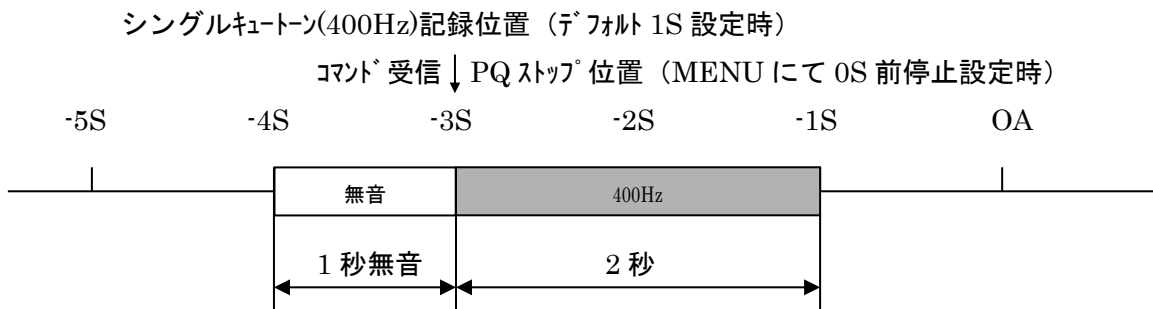
9-3. HDCAM-VTR のストップコード記録フォーマット

種類 : SMPTE のタイムコード、ドロップフレームモード (LTC のユーザーズビットを使用)
 記録トラック : タイムコードトラック
 記録位置 : 下記参照
 記録/再生レベル : 2.4Vp-p(10K Ω)/2.4Vp-p(H inp)
 停止位置 : ON AIR 開始点



9-4. HDCAM-VTR の確認用キュー記録フォーマット

種類 : トップ キュー (400Hz)
 記録トラック : キュートラック
 記録位置 : 下記参照
 記録レベル : +4dBm
 停止位置 : ON AIR 開始点



9-5. ストップコードの記録データ内容

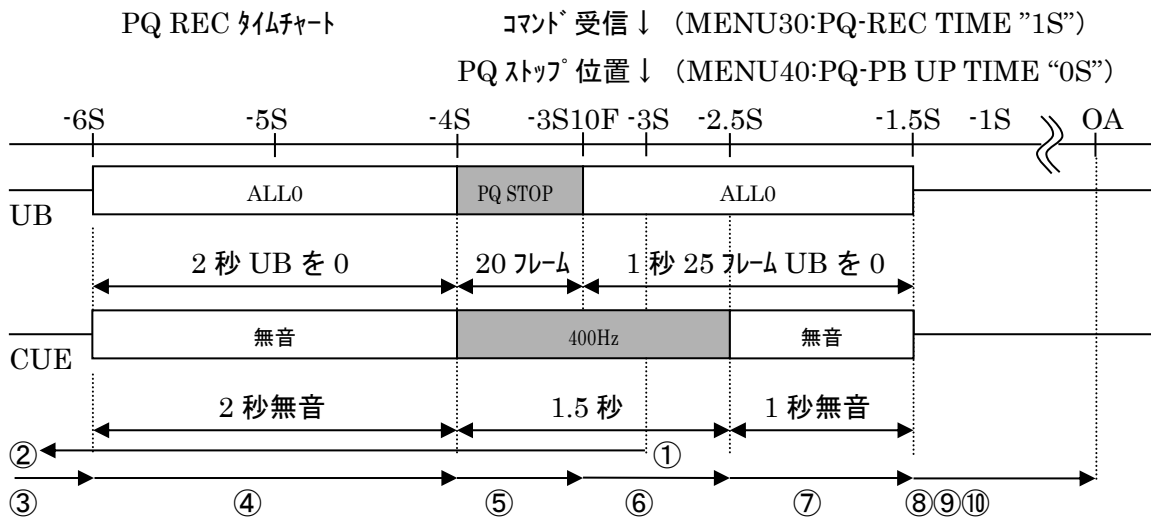
ユーザービットの STOP CODE 一覧表

TIME CODE	BG8-7 (チェックサム)	BG6-5 (データ通し No)	BG4-3 (コードタイプ)	BG2-1 (スタートコード)
00	0xDA	0x13	0x13	0xFF
01	0xDB	0x12	0x13	0xFF
02	0xDC	0x11	0x13	0xFF
03	0xDD	0x10	0x13	0xFF
04	0xDE	0x0F	0x13	0xFF
05	0xDF	0x0E	0x13	0xFF
06	0xE0	0x0D	0x13	0xFF
07	0xE1	0x0C	0x13	0xFF
08	0xE2	0x0B	0x13	0xFF
09	0xE3	0x0A	0x13	0xFF
10	0xE4	0x09	0x13	0xFF
11	0xE5	0x08	0x13	0xFF
12	0xE6	0x07	0x13	0xFF
13	0xE7	0x06	0x13	0xFF
14	0xE8	0x05	0x13	0xFF
15	0xE9	0x04	0x13	0xFF
16	0xEA	0x03	0x13	0xFF
17	0xEB	0x02	0x13	0xFF
18	0xEC	0x01	0x13	0xFF
19	0xED	0x00	0x13	0xFF

10. PQ REC シーケンス

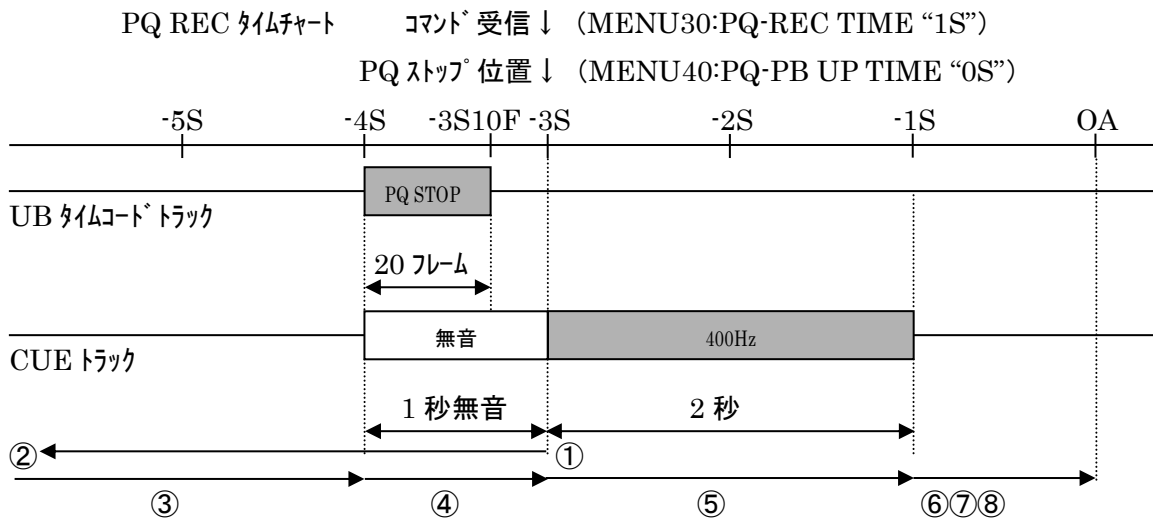
10-1. HDD5-VTR が STOP の時 (パラレル制御・スイッチ入力)

- ① VTR が動作を開始すれば、PQ REC ランプを点灯します。
- ② 書き込み位置の手前へ移動します。(MENUにより書き込み位置の設定可能)
- ③ VTR をイサートモードにして、PLAY します。
- ④ この位置より、ユーザーズビットに ALL0 を、CUEトラックに無音を記録します。
- ⑤ 2秒後、ユーザーズビットに STOP CODE を記録すると共に、CUEトラックに PQ 音 (400Hz) を記録します。(MENU30:PQ-REC TIMEによりマックス方向へ1S~31SまでPQ記録位置の設定が可能です。 ※下図はデフォルト1S)
- ⑥ 2秒20フレーム後、ユーザーズビットに ALL0 を記録します。
- ⑦ 3.5秒後、CUEトラックに無音を記録します。
- ⑧ 4.5秒後、VTR を STOP します。
- ⑨ 引き続き記録した STOP CODE を PQ PB することもできます。(MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により可能)
- ⑩ スタジオ切り-PQ REC を OFF し、PQ REC ランプを消灯します。



10-2. HDCAM-VTR が STOP の時 (パラレル制御・スイッチ入力)

- ① VTR が動作を開始すれば、PQ REC ランプを点灯します。
- ② 書き込み位置の手前へ移動します。
- ③ VTR をイサートモードにして、PLAY します。
- ④ この位置より、ユーザーズビットに STOP CODE を 20 フレーム間記録すると共に CUEトラックに 1 秒間無音を記録します。(MENU30:PQ-REC TIME によりマイクス方向へ 1S~31S まで設定可能です。 ※下図はデフォルト 1S)
- ⑤ 1 秒後、CUEトラックに PQ 音 (400Hz) を 2 秒間記録します。
- ⑥ 4 秒後、VTR を STOP します。
- ⑦ 引き続き記録した STOP CODE を PQ PB 確認することもできます。
(MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により可能)
- ⑧ スタジオから PQ REC を OFF し、PQ REC ランプを消灯します。



11. PQ PB シーケンス

11-1. PQ PB (パラルル制御・スイッチ入力)

- ① VTR に PLAY を指示します。
- ② VTR が PLAY すると共に、PQ PB ランプを点灯し、スタジオ PQ PB 中を ON にします。
- ③ ユーザービットの STOP CODE を検出します。
- ④ ユーザービットの STOP CODE の終了より 10F 後 (STOP CODE の開始点より 1 秒後) ~30 秒 10F 後 (STOP CODE の開始点より 31 秒後) の範囲内で停止させることが可能です。(MENU「40:PQ-PB UP TIME」で設定した位置に STOP します※デフォルト設定 0 秒)
- ⑤ PQ PB ランプを消灯し、スタジオ PQ PB 中を OFF します。次にスタジオ PQ PB 完を ON し、PQ PB 完ランプを点灯します。
- ⑥ CTL カウンターを MENU「45:PQ-PB CTL PRESET」設定により PRESET します。(設定範囲は 0S~30S まで可能※デフォルト 0S)

12. TEST REC シーケンス

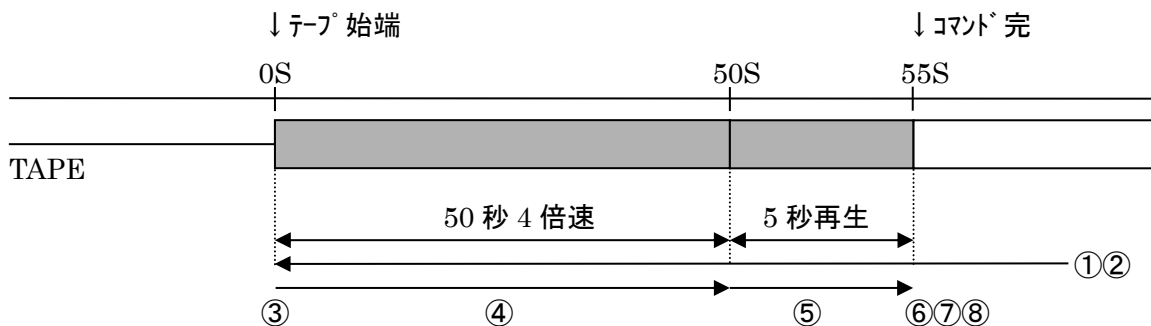
12-1. TEST REC (スイッチ入力)

- ① VTR が動作を開始すれば、TEST REC ランプを点灯します。
- ② VTR の VIDEO IN/AUDIO IN を VTR 内部に設定します。
※MENU「93:TEST REC SEL」設定によります。
- ④ VTR に REW を指示します。
- ⑤ VTR がテープ始端で STOP します。
- ⑥ VTR の TCG の TC を MENU「92:TEST REC TCG SET」が「ENABLE」時、MENU「91:TEST REC PRESET」で設定した時間で PRESET します。
(デフォルト設定 00:58:50:00)
- ⑦ VTR を REC します。
- ⑧ VTR が REC になって、MENU「90:TEST REC TIME」で設定した時間後 STOP します。(デフォルト設定 60 秒)
- ⑨ VTR の VIDEO IN/AUDIO IN を戻し、TEST REC ランプを消灯します。

13. RIS シーケンス

13-1. RIS (パラレル制御・スイッチ入力)

- ① スタジオリ- RIS 中を ON すると共に、RIS ランプを点灯します。
- ② VTR に REW を指示します。
- ③ VTR がテープ始端で STOP します。
- ④ VTR が STOP した位置より、CTL※をカットして MENU「80:RIS FORWARD TIME」で設定した時間-5 秒後の位置に 4 倍速で移動します。(デフォルト 55 秒)
※RIS 実行時 CTL が記録されてない (5 秒以上記録されていない) 場合は、アラーム音「ピピピッ!」を鳴らし STOP します。
- ⑤ 5 秒間 PLAY します。
- ⑥ VTR を STOP します。
- ⑦ MENU「83:RIS END CTL RESET」により、VTR の CTL を「00:00:00:00」にリセットすることが可能です。
- ⑧ スタジオリ- RIS 中を OFF し、RIS 完を ON します。又、RIS ランプを消灯し RIS 完ランプを点灯します。



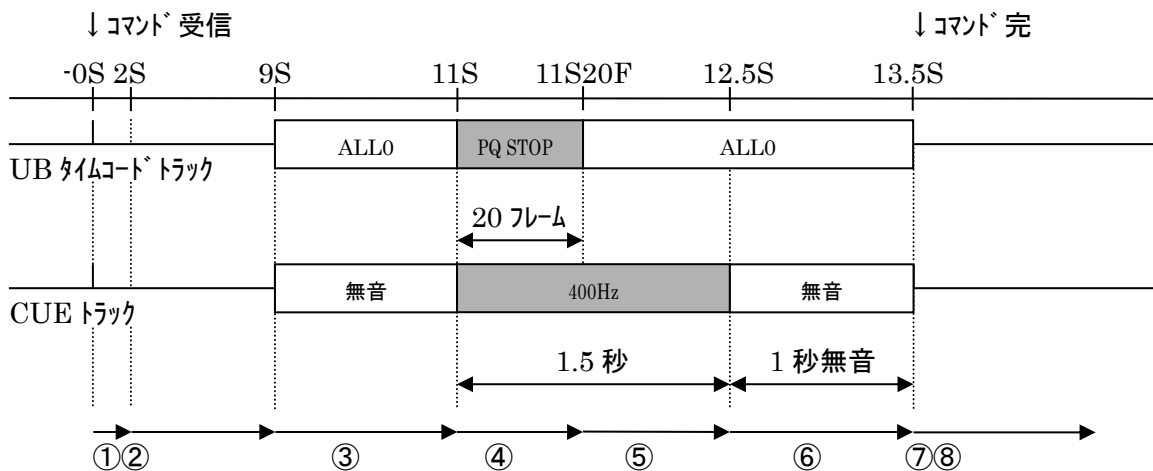
13-2-1. HDD5-VTR での RIS 完了後の REC による自動 PQ REC (パラレル制御)

※MENU「84:RIS END PQ-REC」設定により、RIS 完了後 REC することにより自動 PQ REC を行います。

- ① コマンド受信により VTR は REC を開始します。
- ② 2 秒後、PQ REC ランプを ON します。
- ③ 9 秒後、ユーザービットは ALL0 を、CUEトラックには無音を記録します。
- ④ 11 秒後※、ユーザービットに STOP CODE を記録すると共に、CUEトラックに PQ 音 (400Hz) を記録します。

※MENU「85:AUTO PQ-REC TIME」により REC 開始からの STOPCODE 記録開始時間設定が可能です。(デフォルトは 11 秒)

- ⑤ 11 秒 20 フレーム後、ユーザービットに ALL0 を記録します。
- ⑥ 12.5 秒後、CUEトラックに無音を記録します。
- ⑦ 13.5 秒後、スタジオカラー PQ REC を OFF すると共に PQ REC ランプを消灯します。
- ⑧ VTR は REC を継続します。(TCG の UB フォリット設定は元に戻しています)



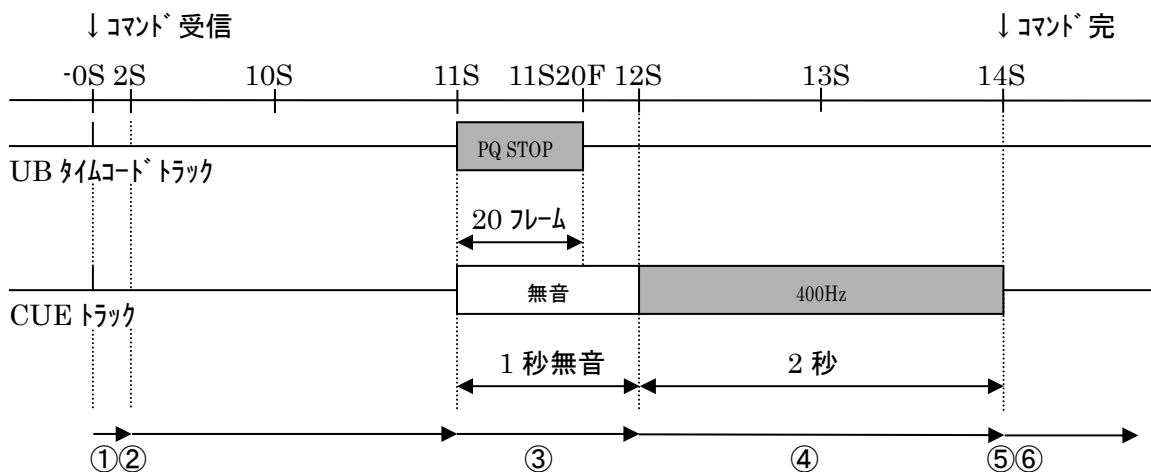
13-2-2. HDCAM-VTR での RIS 完了後の REC による自動 PQ REC※ (パラルル制御)

※MENU「84:RIS END PQ-REC」設定により、RIS 完了後 REC することにより自動 PQ REC を行います。

- ① コマンド受信により VTR は REC を開始します。
- ② 2 秒後、PQ REC ランプを ON します。
- ③ 11 秒後※、ユーザーズビットに STOP CODE を 20 フレーム間記録すると共に、CUEトラックに無音を 1 秒間記録します。

※MENU「85:AUTO PQ-REC TIME」により REC 開始からの STOPCODE 記録開始時間設定が可能です。(デフォルトは 11 秒)

- ④ 12 秒後、CUEトラックに PQ 音 (400Hz) を 2 秒間記録します。
- ⑤ 14 秒後、スタジオ PQ REC を OFF すると共に PQ REC ランプを消灯します。
- ⑥ VTR は REC を継続します。(TCG の UB スループ設定は元に戻しています)



14. 一般仕様

14-1. 一般

電源	: AC100V ±10%、50/60Hz
消費電力	: 50VA 以下
動作温度	: 5°C～40°C
使用湿度	: 20%～80%
外形寸法	: 480×88×400mm (幅／高さ／奥行き) (突起部を除く)
質量	: 約 7Kg

14-2. 入出力

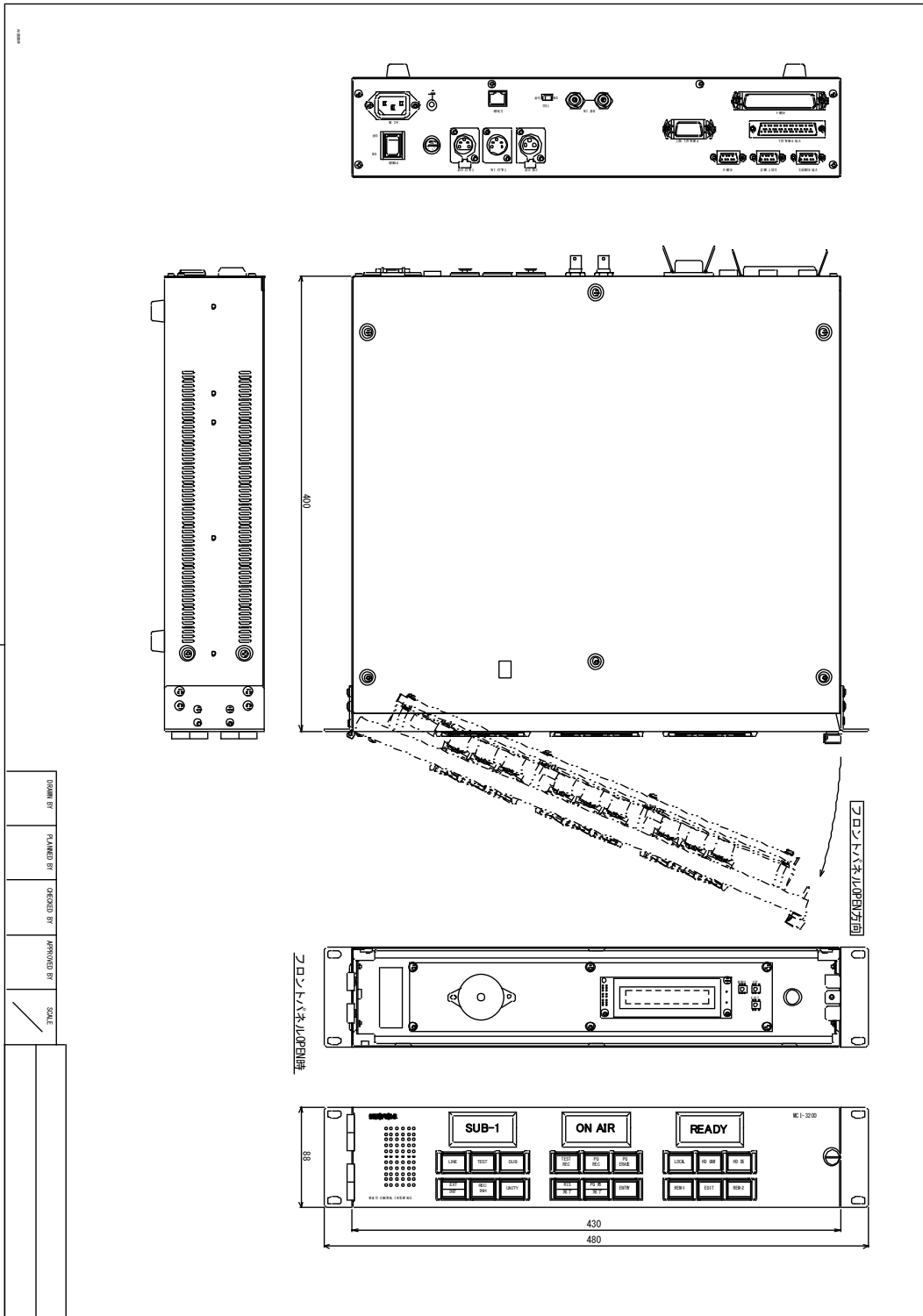
REM-1	: フォトカプラ受け、メタ接点出力
VTR PARALLEL	: フォトカプラ受け、オープンコレクタ出力
PARALLEL OUT	: メタ接点出力
VTR REMOTE	: RS-422 シリアルポート
EDIT UNIT	: RS-422 シリアルポート
REM-2	: RS-422 シリアルポート
REF IN	: 3 値 SYNC 0.6V(75Ω)、525i/59.94 B.B 0.45V(75Ω)
CUE OUT	: +4dBm
TALLY IN	: フォトカプラ受け
TALLY OUT	: メタ接点出力

14-3. 付属品

: AC 電源コード	× 1
: AC 電源コード 抜け止め金具 (装着済み)	× 1
: ラックイヤー (装着済み)	× 1 セット
: 取扱説明書	× 1
: 保証書	× 1
: 号機灯フィルム (「V-1」～「V-10」, 「HD-CAM」)	× 1
: VTR 接続用 9pin ケーブル (1.5m)	× 1
: VTR 接続用 50pin ケーブル (1.5m)	× 1

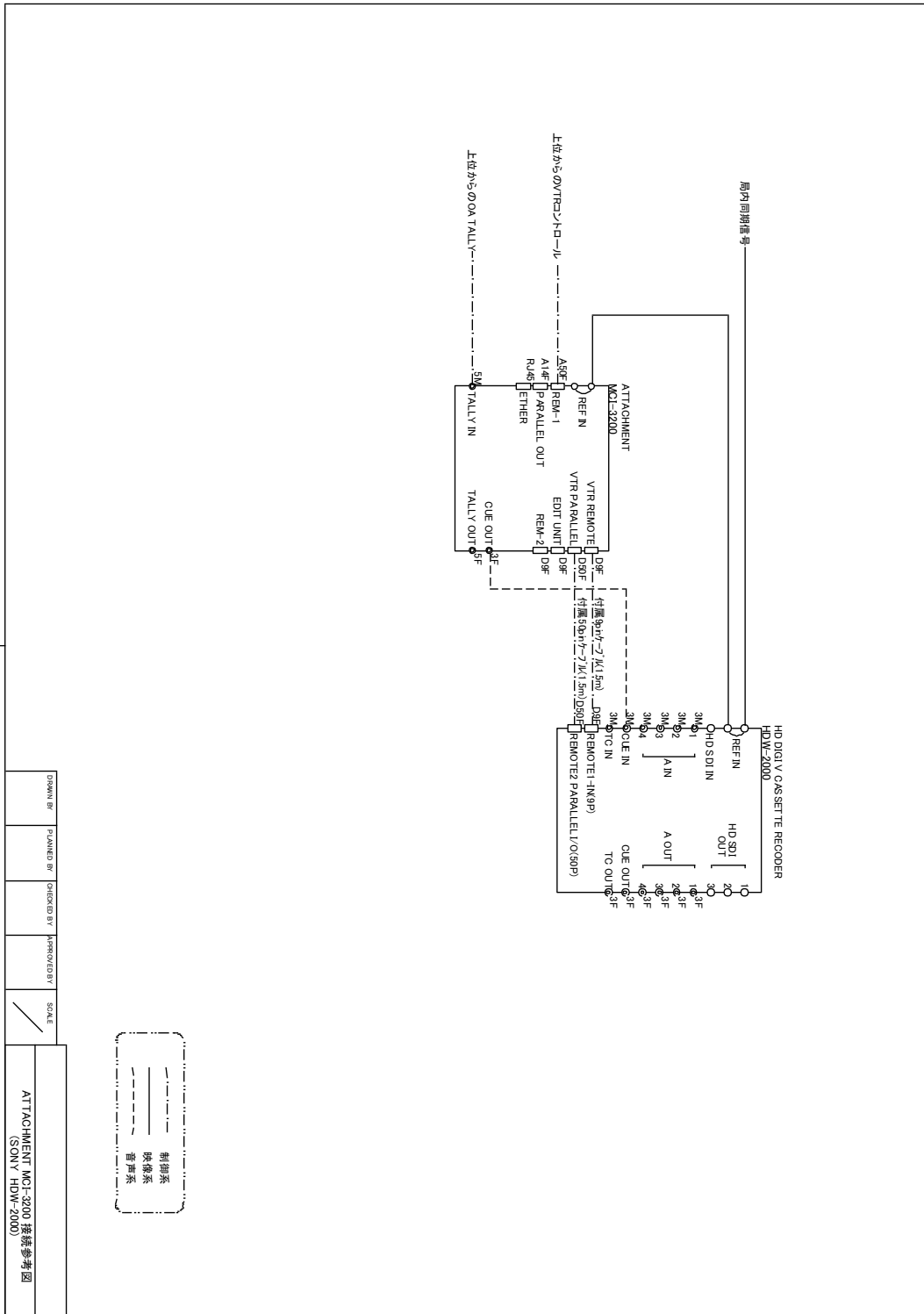
※50pin ケーブルは SONY 製 VTR (HDCAM) のみ使用します。

15. 外観図



16. 接続例

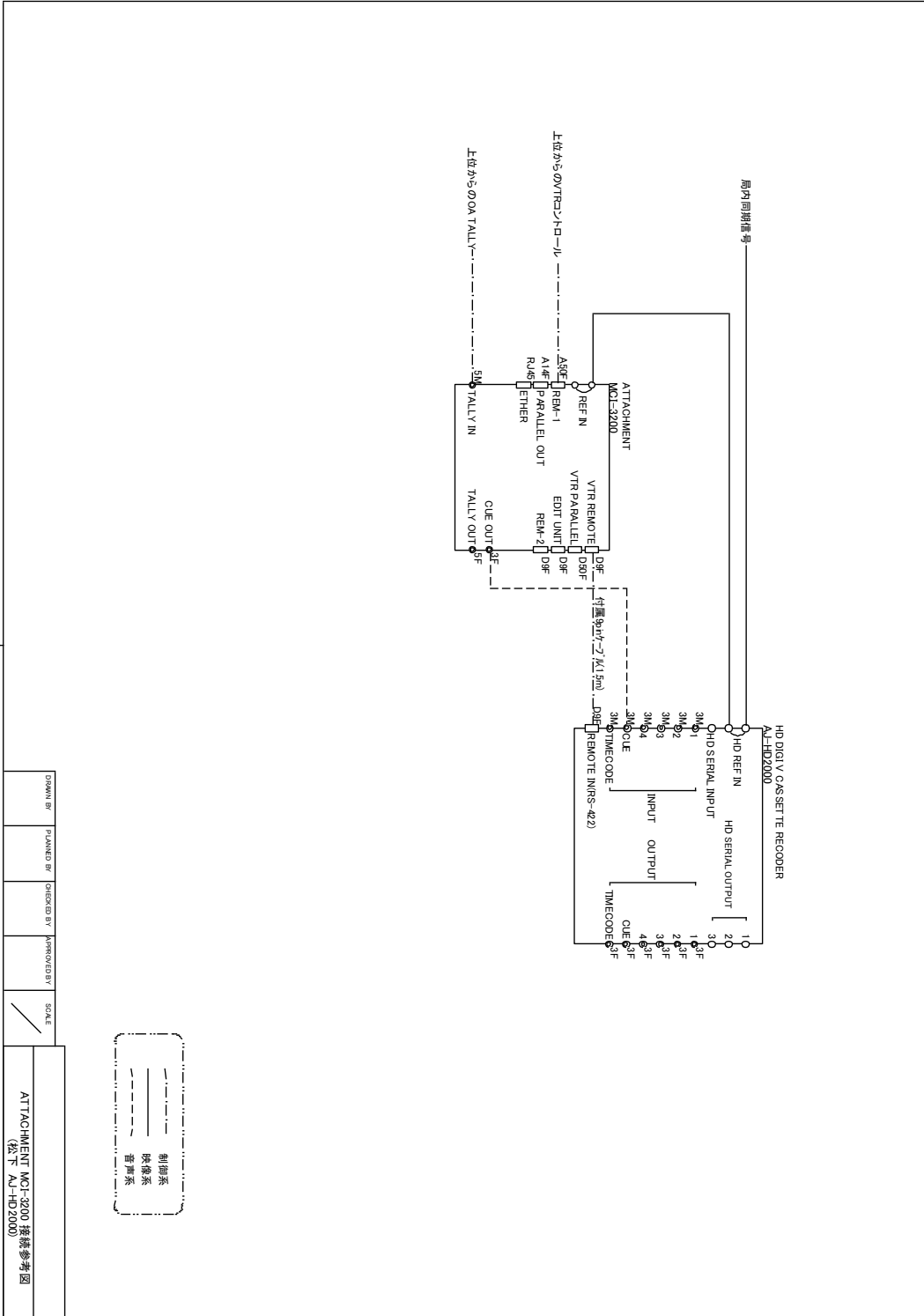
16-1. SONY 製 VTR (HDW-2000) との接続例



MUSASHI

16-2. 松下製 VTR (AJ-HD2000) との接続例

MUSASHI



17. 各 VTR 設定の違いと注意点

17-1. 各 VTR の動作タイミング及び UNITY 動作について

- (a) PQ-REC の EDIT 開始点、終了点、ユーザーショットのリセット開始点、PQ-PB 時の停止タイミング、RIS 動作等、各 VTR により動作タイミングが違います。MCI-3200 では MENU 「02:FORMAT SEL」により VTR を選択することで VTR に最適な動作タイミングのパラメーター値がデフォルトとして設定されます。詳細は 36 ページの「VTR 設定一覧表」を参照して下さい。

※更にタイミングを微調整したい場合等、MENU の各パラメーターは個別にデフォルト以外の値に変更することは可能ですが、PQ-REC TRIM 系のタイミングなどは注意が必要です。(デフォルト値を推奨しています)

- (b) MCI-3200 には VTR の VIDEO 及び AUDIO の入出力レベルが UNITY であるか監視・設定する機能がありますが、各 VTR により監視・設定が出来ないパラメーターが存在します。詳細は 37 ページ「VTR の UNITY 判定一覧表」を参照して下さい。
- 又、SONY 製 VTR の場合、デフォルトでは UNITY スイッチは操作出来ません。操作したい場合は、MENU 「06:UNITY SW MASK」を“OFF”に設定して下さい。

17-2. SONY 製 VTR (HDW-500) について

- (a) MENU005 SERVO REF 「auto」デフォルトの場合 REC 時は INPUT に LOCK しますが、再生では EXT に LOCK します。INPUT に VIDEO を入れていないと REF ERR のアラームが上がりますのでご注意ください。
対策としては、INPUT に必ず映像を入れるか、MENU005 SERVO REF 「ext」に変更して下さい。
- (b) CUE レベルは変更しても UNITY ランプに反映しません。
- (c) VTR 設定を HDW-500 にした場合 9PIN のみで動作します。
但し、LOCALDISABLE 時は KEY-MAP 設定が出来ませんので、MAP 設定で使いたい場合は、別売りの BKDW-509 を装着して下さい。
又、9PIN 制御のみで LOCALDISABLE 時どうしても VTR の KEY 操作をしたい場合は LOCAL に切替えてご使用下さい。
- (d) VTR 設定を HDW-500(50P)にした場合 9PIN と 50PIN 併用で動作します。
VTR の NV-RAM 設定により ON AIR や REM-1 時等、LOCALDISABLE MAP を選ぶことが可能です。(22 番ピン IN 設定を “71,00,0F,FC,03,00” にした場合) 但し、別売りの BKDW-509 を必ず装着して下さい。
各 NV-RAM 設定の詳細は、30 ページ「6-2-2. VTR PARALLEL コネクタ (HDW-500(P)の 50PIN とストレート接続)」を参照して下さい。
- (e) VTR 設定を HDW-500 にした場合 RECINH は 9PIN コマンドで対応しています。又、HDW-500(50P)にした場合 RECINH は 50ピンの NV-RAM 設定により (1 番ピン IN 設定を “72,00,05,FE,01,00” にします) 対応しています。
- (f) VTR 設定を HDW-500(50P)にした場合 REMOTE9-PIN の LOCAL 状態を監視する為に 50ピンの NV-RAM 設定が必要です。50PIN の 30 番ピン(OUT) #REEL HUB OUT → REMOTE 9-PIN に変更して下さい。
(30 番ピン OUT 設定を “02,00,4B,01,00,00” にします)

17-3. SONY 製 VTR (HDW-1800) について

- (a) (HD) SETUP 値を変更しても UNITY ランプ[®] に反映しません。
- (b) VTR の REMOTE は 9PIN と 50PIN 併用で動作します。必ず事前に VTR の NV-RAM 設定を行って下さい。詳細は、29 ページ「6-2-1. VTR PARALLEL コネクタ (HDW-1800/2000 シリーズの 50PIN とストレート接続)」を参照して下さい。
- (c) HDW-1800 には CUE 入力専用のコネクタがありません。CUE 信号を記録したい場合は、AUDIO INPUT CH1 又は CH2 何れかに CUE を入力する必要があります。CUE トラック入力選択方法は、HDW-1800 の取扱説明書に記載されているセットアップメニュー項目 833 の「CUE AUDIO INPUT SELECT」を参照して下さい。
- (d) MCI-3200 の CUE OUT を VTR の AUDIO INPUT CH1/CH2 のコネクタと接続しますが、VTR の XLR3 ピンコネクタがメス座になっていますのでご注意ください。(雄→雄ケーブルが必要になります)
- (e) HDW-1800 には CUE 出力専用のコネクタがありません。CUE 信号をモニターしたい場合は、MONITOR OUTPUT L 又は R 何れかに CUE を割り当てる必要があります。CUE トラック出力選択方法は、HDW-1800 の取扱説明書に記載されている 2-1 コントロール[®] 社のオーディオメーターブロック 1「・モニター選択」を参照して下さい。

17-4. SONY 製 VTR (HDW-2000 シリーズ) について

- (a) (HD) SETUP 値を変更しても UNITY ランプ[®] に反映しません。
- (b) HDW-A2100 の場合は AUDIO IN 及び CUE IN の UNITY 入力レベルは監視していません。
- (c) VTR の REMOTE は 9PIN と 50PIN 併用で動作します。必ず事前に VTR の NV-RAM 設定を行って下さい。詳細は、29 ページ「6-2-1. VTR PARALLEL コネクタ (HDW-1800/2000 シリーズの 50PIN とストレート接続)」を参照して下さい。

17-5. 松下製 VTR (AJ-HD3730) について

- (a) VTR の VIDEO OUTPUT レベル調整 MENU にて SD/HD が選択出来ますが、SET UP MENU に入り、(F10)INTERFACE SETUP MENU の中の (F11)V.LEV.CNT にて「BHTH」を選択すると、HD と SD 両方 UNITY 設定が可能になります。又、「NORMAL」or「SD」にすると SD のみ設定可能で、「HD」にすると HD のみ設定可能になります。
ステータスは「BOTH」を選択すると HD のみしか読めません。
SD を読むには「NORMAL」or「SD」にします。
HD を読むには「HD」or「BOTH」に設定します
通常は「BOTH」に設定してお使い下さい。
- (b) VTR の REMOTE は 9PIN のみで動作します。
- (c) MCI-3200 の MENU 項目にある D3 専用のパラメーター設定は AJ-HD3730 のみ有効です。他の VTR では動作しません。
- (d) AUDIO IN/OUT は 8CH に対応しています。

17-6. 松下製 VTR (AJ-580HD/AJ-HD2000/3000) について

- (a) VTR の REMOTE は 9PIN のみで動作します。
- (b) AUDIO IN/OUT は 4CH 仕様です。

17-7. 松下製 VTR (3700H/3700A/3700B) について

- (a) VTR の REMOTE は 9PIN のみで動作します。
- (b) AUDIO IN/OUT は 8CH に対応しています。

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391 FAX 03-5982-4784

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>

